

滋賀医科大学外科学講座
同門会誌

2009年

滋賀医科大学外科学講座同門会

目 次

■ 巻 頭 言	1
■ 関連病院だより	7
■ 業 績 (教 室)	17
■ 業 績 (関連病院)	41

卷 頭 言

- 滋賀医科大学外科学講座同門会 会長 小玉 正智
- 滋賀医科大学外科学講座 教授 谷 徹
- 滋賀医科大学外科学講座 教授 浅井 徹

同 門 会 の 今 後

滋賀医科大学外科学講座同門会
会長 小玉 正智

同門会の皆様のご活躍と御健康をお慶び申し上げます。

21世紀になり早や10年が経過し、滋賀医科大学は1974年10月に開学し、大学と同様に外科学講座も36年を迎えることとなります。

谷徹教授と浅井徹教授は、ともに三代目の教授でほぼ同時期に就任され、両教授のご努力と英断で、2003年から大講座制が始まり8年目を迎えています。

大学附属病院は、外科の受診時に臓器別の診療科になり、患者にとって判り易く好評です。また教室内の医師の専門領域の重複がなくなり、診療分野が明確化して、教育と質の良い医療が提供できるいくつかのメリットがあります。

2004年の医師法の改正により卒後初期臨床研修が導入され、多くの長所が挙げられますが、短所は大学医局への入局者が減少し、長い間培われていた大学医局と地域病院との循環研修システムが崩れ、地域医療の危機が一因となっています。この流れは、当分変わることはないと思われ、この流れを変えるには後期研修を充実し、大学と各講座の連携をもった特徴のある教育関連病院が必須であると思えます。

わが同門会は、会員相互の医学研究の交流、親睦等を図ることを目的としていますが、外科教室が優秀な外科医を育成するためのシステムとまずは滋賀県の地域に貢献できる人材確保するシステムを同門会が支援するようより強力な組織になりたいと思えます。

いくつかの大学の外科教室では、すでに同門会が有限中間法人、あるいは一般社団法人として活動していますが、わが同門会はこの方向で、さらに将来は公益法人を目指して発展できればと思えます。

会員皆様の意見をいただき、実現できればと念願しています。

新しい医師教育の視点

滋賀医科大学外科学講座
教授 谷 徹

今年で3回目となる同門会誌の巻頭言を述べるにあたって社会の動きを顧みると、内政、外政ともにバブル崩壊後も続く国家、国民として自信をなくすような出来事が多かった事は変わらない。まさに“大人のいない社会”が政治や社会情勢に反映される状況が続いている。

ある大臣経験者が今の状況から国民が反省し、立ち直るには大戦直後の状況まで社会が後退するまで期待できないと言っていたことを思い出す。

しかし、誰もがそのような状況に無関心で済む事ではなく、医者の世界は一つの職能集団として、自分たちの職業のみならず、社会情勢や行く末にも何分かの責任を負う集団だと考える。特に医療産業の日本発の割合は極めて低い。厚生労働省の施策のためか、我々も患者も従来から医療や福祉はただお金を御上からもらってばらまくだけのものであると思いきんできた節がある。我々も国立大学として、全て国からのお金をただ使うだけの活動であった気がする。多くの国民もそのような構図が一貫しているように思う。

大人の社会に戻すためには、個々が自立し、自己責任を負える大人となることである。我々にとってみれば、医療そのものがお金を使うだけではなく、産業や社会構造の支援となる本来の目的を取り戻すべきと考える。つまり患者さんは社会に復帰させ、働いて頂ける状態に戻す。医療はより有用であるシステムやデバイス、ドラッグを生み出し、それを世界に発信していくことである。

振り返ってみれば、このようなことは本来医療界が率先してすべきだったことのように思う。なぜならば、大学入試のレベルから見ても、まさに優秀な学生が入学している職能集団でありながら、生み出される技術やサービスが国内でしか活かされていないこと自身、もっと早く改善されるべきであった。国として優秀な若者を生かすのは喫緊の策であり、国を動かす力として、我々の活力を使っていくべきである。

我々の統合された同門会が方向付けすべき事とは、医師として働く面を持ちつつ、より新しく、高度で有用な技術や治療を生み出す医師を育てる事。つまり医療において治療にお金と従前の技術を使うのみならず、自らがより役に立つものを生み出して産業化していく志向、または考えを広めることと思われる。

先輩、後輩が集まる同門会では、この連携を通じ、今後医療人集団が向かうべき方向性を示していく格好の場所となり、またそれを実践していく場であるように努めるとともに期待したいと思う。

最高水準の治療を目指し続けて

滋賀医科大学外科学講座
教授 浅井 徹

陽春の候、滋賀の地へ来て10度目の春を迎えることとなります。同門会会員の皆様、常日頃より外科学講座並びに医局員のご指導、ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。皆様と医局事務職員の方々の多大な労力の下、同門会誌の発刊にこぎ着けました。まずは、お礼を述べさせていただきます。

平成14年1月に初めて滋賀医科大学に来まして、大学の独立行政法人化と早期臨床研修制度により入局者減少、大講座制のもとグループの再編、いわば嵐の中で船出を余儀なくされた感がありました。

しかし9年目にあたる昨年は、2つの特記すべきことがありました。1つは、3月にベトナムのホーチミン市 Cho Ray Hospital からの強い希望で、心拍動下冠動脈バイパス術の指導に招かれたことです。Cho Ray Hospital はその設立が日本のJICAによるもので、現在人口の流入によりベトナムで最大の病院です。1週間の予定で助手1人を連れて参りましたが、4日間で8例の手術に入り執刀してきました。言葉の通じにくい異国で英語と片言のベトナム語を使い、現地の外科医、看護師、麻酔医、人工心肺技師と何とかコミュニケーションをとって心拍動下手術を披露するだけでなく、僧帽弁形成術や、弓部大動脈全置換術まで1日2例の手術を毎日行いました。私たちが当たり前に思っている設備やものがなかったり、術中コミュニケーションを何とか英語とゼスチャーでとり手術を進める課程で、これまで私の外科医としてのキャリアにない多くのことを学びました。また、国の体制のもとまだ貧しいといえる国の外科医たちが短期間でもできるかぎり私の手術から技を吸収しようとする真摯なまなざし、学ぶ姿勢に強く心を打たれました。帰国して何か今までの手術と臨床がこれまでと違って見えるようになった程です。心臓血管外科 Anh 教授とは今後も密な交流を約束し、11月から1人留学生を受けることになりました。

もう1つは、7月に滋賀医大新手術棟から日本 Advanced Heart and Vascular Surgery / OPCAB 研究会の第1回会長を務め、アメリカ、イタリアから第一人者の心臓外科医をゲストに招き、手術中継を行ったことです。満員のホテル会場でライブ画像を見ながら全国から集まったコメンテーターや参加者と日本語と英語でディスカッションし、進んだ手術法を模索するまたとない学習の機会を持ってました。ライブ手術に対する風当たりの中、滋賀医科大学附属病院をあげて多くの人たちにご協力いただき、無事に成し遂げることができました。この模様は、3ヶ月間WEB配信され、海外の心臓外科医からも多くコメントをいただきました。

これらとともに、これまで一貫してやってきた心臓手術の実績から漸く海外の

一流紙にアピールできる論文が連続して掲載されるようになりました。これまで日本の心臓外科は症例数もレベルも欧米と比較にならないくらい貧弱との通念がありました。ついに滋賀医科大学発の主張が欧米施設にチャレンジできつつあるレベルに来た感があります。われわれはまだまだ少人数で多忙を極めておりますが、同門の皆様にとっても誇りを持って語っていただけるような教室を今後も育ててゆきたいと思っております。

関連病院だより

- 草津総合病院 平野 正満
- 洛和会音羽病院 榎堀 徹
- 日野記念病院 内藤 弘之
- 近江草津徳洲会病院 横田 徹
- 公立甲賀病院 一瀬 増太郎
- 新生病院 奥村 憲二
- Emory University 池上 博久
- 岸和田徳洲会病院 平松 範彦

草津総合病院

〒525-8585 草津市矢橋町 1660

電話：077-563-8866

平野 正満 (昭和 55 年卒)

○病院の概況と現状

草津総合病院は2005年4月に新築移転し、5年目を迎えることになりました。開設当時から草津市小児救急医療センターを併設し、また地域災害拠点病院、臨床研修指定病院として、719床を有する湖南地域の中核病院として活躍してきました。2008年には全国で2番目に認可された社会医療法人となり、昨年はDPC病院への移行、病院機能評価ver. 6、外国人医師臨床修練施設を取得、さらに本年6月から7:1看護を開始し、質の高い医療を提供できる総合病院に変身しつつあります。2012年には付属看護学校の設立を計画しており、すでに看護教員が赴任し準備室を立ち上げています。来年度以降は、地域支援病院やがん治療連携支援病院の取得を目標に掲げ、大学病院との連携とともに地域密着型病院として更なる発展を目指しています。

当院では、外科においても専門領域の細分化が進んでおり、私たちの領域は一般・消化器外科と乳腺外科を担当しています。昨年の業績は下記に示すとおりですが、特に手術件数で比較しますと目標としていた全身麻酔件数が500件を超えることができました。一昨年は336件、昨年は498件であったことから、手術件数は着実に増加しています。

昨年の実績 (2009年1月～2009年12月) :

外来患者数 14798名 (初診患者数 3743名)、入院患者数 18797名

手術件数 総数678件

全身麻酔：533件 腰椎麻酔：57件 局所麻酔：88件

内容 (主な疾患の手術件数を示す)

胃癌：20件 大腸癌：115件 うち 結腸癌：86件、直腸癌：29件

腹膜偽粘液腫症例を含む

虫垂切除：85件、胆嚢疾患 (良性)：77件、鼠径ヘルニア：78件

○一般・消化器外科のスタッフと担当業務：

水野光邦 (理事長) を中心に、榎渕統一 (リハビリセンター長)、水本明良 (手術部部長)、高尾信行 (外科副部長)、戸川 剛 (外科副部長)、松田高幸 (乳腺外科担当、医長)、一瀬真澄 (医長)、小座本雄軌 (医員) (以上、敬称略)、さらに平野 (外科部長) で構成しています。

一般・消化器外科の主な業務と担当者 (平成22年度) :

ー 腹膜播種、腹膜偽粘液腫：水本 (手術成績、温熱熱化学療法：産学協同研究)

- － 内視鏡外科：平野（腹膜播種に対する腹腔鏡下手術：高度先進医療）
単孔式腹腔鏡手術：一瀬、平野（胆嚢摘出、ヘルニア修復、虫垂切除など）
- － ヘルニア：高尾（滋賀ヘルニア、症例登録）
- － 減量手術（肥満手術）：戸川、小座本
- － CVポートセンター：一瀬、平野（CVポートの登録制、管理など）
- － がん地域連携パス：水本、平野（勉強会、講演会）
- － 乳腺外科 松田（府立医大乳腺外科の関連施設）

当科は、地域医療が中心ではありますが、上記に示す先進的な医療にも積極的に取り組んでいます。特に、当院の顧問である米村 豊先生の腹膜播種外来には全国から患者さんが訪れます。その結果、入院患者や手術件数が増加し、病棟稼働率も90%を超える状態が続いています。実働の外科医数は7名ですが、外来や救急、当直での仕事などを抱えると、充足された状況とはいえません。これからも滋賀医大外科学教室の先生方のご指導やご支援を賜りながら、地域医療と先進医療を両立させながら発展させていきたいと考えています。

洛和会音羽病院

〒529-1642 京都市山科区名神京都東インター横

電話：075-593-4111

榎堀 徹（昭和58年卒）

洛和会音羽病院は昭和55年に開設され、本年開設30周年を迎えました。

病院開設後の昭和59年に京都大学胸部疾患研究所（現呼吸器内科）から初代呼吸器内科医が着任し、呼吸器外科は昭和62年、滋賀医科大学第2外科（現呼吸器外科）から加藤弘文先生、山中晃先生が非常勤として着任され開設されました。昭和63年1月に、滋賀医科大学第二外科から榎堀が呼吸器外科常勤医として着任しました。当時は一人赴任のため外科の先生方にご協力をいただき、肺癌、縦隔腫瘍、気胸などの手術を始めたところでした。平成2年に一時的に呼吸器内科医が不在となり、呼吸器内科・外科すべての呼吸器疾患を担当することとなり、呼吸器科として現在に至っております。

現在の洛和会音羽病院は急性期病床428床、医療療養型病床50床、認知症病床60床、回復期リハビリ病床50床の計588床の病院です。「断らない救急」を理念に年間約5000例の救急搬送を受け入れており、急性期から回復期まで一貫した治療めざす地域の中核病院となってきました。医局員も1、2年次の研修医を含め、150人を超える医師、歯科医師が在籍しております。

現在の呼吸器科は、滋賀医科大学呼吸器外科から2名（榎堀 徹、五十嵐知之）、富山医科薬科大学から呼吸器内科土谷美知子先生、畠中陸郎先生（現健診センター・呼吸器科）、日置辰一郎顧問および1年次、2年次のジュニアレジデント、3年以上のシニアレジデントのローテーションを受け入れて診療を行っております。年間の入院患者数は350-400名で45%が肺癌患者です。年間の手術症例は50例前後で、肺癌、気胸、縦隔腫瘍、転移性肺癌など、またびまん性肺疾患の肺生検なども積極的に行っております。ほとんどの手術が胸腔鏡下に行われております。

平成23年9月に竣工予定のがん治療棟（仮称）が完成いたしますと、PET検査、放射線治療、がん緩和病床などがんに対する集学的治療が確立し、更に専門性を持った治療が可能になり、期待されます。

当院では滋賀医科大学の卒業生も新医師臨床研修制度の下で多数研修を修了し、専門科の常勤として活躍しております。外科学会専門医、呼吸器外科専門医などの資格の取得なども可能です。呼吸器科、呼吸器外科希望の先生を募集しております。

今後も、地域医療に携わりながら、かつ専門性も重視した診療を心がけていきたいと考えております。

日野記念病院

〒529-1642 蒲生郡日野町上野田 200-1

電話：0748-53-1201

内藤 弘之 (昭和62年卒)

日野記念病院は昭和60年4月、日野町誘致病院として開設されました。それまで日野町には病院はありませんでした。その後、2回の増築、療養型病棟竣工され、現在では195床(一般病棟146床、療養型病棟49床)で運用されています。

蒲生郡日野町は滋賀県の南東部、鈴鹿山系の西に位置する町で霊峰・綿向山を東に望む、自然環境のとても恵まれた町です。現在の人口は約23000人あまりですが、日野町のみならず東近江市、竜王町、甲賀市、愛荘町などからも患者様はこられております。

日野町は室町時代、蒲生氏の城下町となって歴史の表舞台に登場してきました。繁栄の基礎を築いた蒲生氏は400年以上この地を治め、商工業の保護、育成に努力し、鉄砲や鞍などを特産品として生み出してきたとされています。そのなかで特に有名な人物は、蒲生氏郷公です。信長の娘冬姫を妻とし、その後秀吉に仕えた氏郷は日野町の産業発展にさらに貢献したとされています。蒲生氏郷公はその後松坂12万石、会津92万石の藩主となりましたが日野町を語る上では欠かせない人物であります。やがて江戸時代に入り日野の商人は近江商人の基礎を確立し、近江日野商人として名をとどろかせたということです。

もうひとつ、日野で有名なものは近江牛です。特に日野町の人にはプライドをもって近江牛とは言わず、日野牛と言っています。安くて美味しいお店が多く、先日、4回生の講義に行ったときに日野牛を紹介したところ、学生がツアーを組んで日野牛を食べに来ていました。

近くにはブルーメの丘やグリム冒険の森といった観光スポットもあり、日野町の人々の性格(日野町の人とはとても温厚な印象です)も相まっていい環境で仕事させていただいております。

とはいえ日常の診療は医師数やベッド数から考えると大変忙しい日々を送っております。内科に関しては、私が赴任した際は8人いた常勤医師がいまは4人しかおらず、火の車状態です。外科系は、3年前は年間900件の手術件数であったのが昨年度は手術室3室、手術部勤務看護師6人で1200例の手術を行いました。こちらもいっぱいいっぱいの状態です。救いは医師同士の仲がよくお互い助け合いの精神で診療できることです。さらに、看護師、放射線技師、薬剤師、検査技師、臨床工学技士、理学療法士、事務職などのメディカルも大変協力的で、人間関係で問題を感じたことは全くないと言っても過言ではありません。

現在日野町を含めた東近江医療圏は医師不足から起因する多くの問題を抱えております。今後外科学教室、滋賀医科大学の協力なしには改善の目途はたたないでしょう。今後とも外科学教室の先生方には何卒宜しくお願い申し上げます。

医療法人 徳洲会 近江草津徳洲会病院

〒525-0054 草津市東矢倉 3-34-52

電話：077-567-3650

横田 徹 (昭和 62 年卒)

当院は世界に病院を持つ徳洲会グループに属しています。まずは徳洲会の歴史と現在の方向性についてご紹介していくことにします。徳洲会グループは理事長の徳田虎雄元衆議院議員が一代で築かれた組織です。理事長は鹿児島から南にあるトカラ列島のなかの徳之島出身です。幼少時、実弟が病気になった折に島の医師に見放され亡くなりました。その時の衝撃と理不尽さからどのような境遇でも「命だけは平等だ」という思いで苦勞され、家族の愛情に守られて医師になられた方です。その考え方は一貫しており、弱い人、力のない人のために力のある人が見返りのない努力をする社会の構築です。当初は借金を重ねての病院運営であり ALS を発症され療養中の今でも、徳洲会グループ全体の方向性に関して指示を出されています。医療活動もその実践を通じた社会活動の一環であり、そのためには政治力が必要です。現在徳洲会にはブルガリアのソフィア病院を加えた 67 病院と、多くのクリニック、老健施設があり職員は 2 万人を超え海外にも積極的に進出しています。また急性期病院の取り組みだけでなく高齢者社会を見越して在宅医療、介護分野にも進出しています。その中で当院は、同門会会長の小玉正智名誉教授が誘致に苦勞され、平成 15 年 9 月に開院しました。私も開院時から小玉会長の元で働かせていただきましたが、徳洲会で育った医師が一人もいない状況での徳洲会スタイルには、とてつご苦勞されておられました。外科の同門は寺田信国先生（現生田病院長）、西村彰一先生（現野洲病院副院長）、貝塚真知子先生と私で始まり、その後も毎年新しい先生方の派遣と応援を賜り、昨年からは若林正人先生が外科部長に就任されました。いまだ内科医がほとんどいない状況ですが、谷 徹教授の御厚情で小玉会長が辞された後も教室から応援していただいております。平成 18 年 6 月には浅井 徹教授御執刀で初めての開心術が行われました。平成 19 年 4 月から白石昭一郎先生、小池雅人先生が就任され、開心術は現在までに 150 を超える例数に達しています。また浅井教授はもとより鈴木友彰先生、松林景二先生、手塚則明先生や若手の先生方に、手術だけでなく教室をあげて応援していただいております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今は大学の医療に依存している現状ですが、地域のニーズに合わせ、外科医の志を持って他の病院と協力し環境を整えていきたいと考えています。

公立甲賀病院

〒528-0014 甲賀市水口町鹿深 3-39

電話：0748-62-0234

一瀬 増太郎 (平成2年卒)

公立甲賀病院は、甲賀市と湖南市が共同で設立した組合を経営母体とする公立病院です。実働病床数が400あまりの総合病院で、甲賀市水口町の中心街に位置しています。滋賀県に長く住んでいる方でもほとんど乗ったことはないであろう近江鉄道が近くを走っており、最寄りの水口石橋駅からは徒歩2分の距離にあります。約15万人の人口を抱える甲賀・湖南医療圏の基幹病院で地域がん診療連携拠点病院でもあります。現在稼働している建物の老朽化は著しく、最も古いもので46年が経過しています。ハード面では決して恵まれているとは言えない現状ですが、平成24年度中に新築移転が予定されており、準備が着々と進行中です。現在常勤医は57名で、各内科を中心に、放射線科、脳外科、産婦人科、眼科、耳鼻科、麻酔科、泌尿器科、皮膚科など多くの診療科が滋賀医大の医局からの先生で構成されており、その他の先生方も含めて、横の連携は良好で働きやすい病院です。救急医療は二次救急ですが、近隣に救急病院が少ないことから広域の三次救急に近い症例まで対応しています。長らく、呼吸器科診療は非常勤医のみの外来診療を中心に行われていましたが、平成21年4月より浅田佳邦が呼吸器外科部長として赴任。翌平成22年4月からは一瀬増太郎が加わり、現在2名の常勤医と4名の非常勤医で呼吸器の入院・外来診療を担当しています。新名神高速道路の開通に伴い、さらに地理的に滋賀医大と近くなったこともあり、大学と連携して診療に当たっています。平成21年4月から1年間の症例数は、入院患者数160例のうち肺癌98例。全身麻酔手術は39例で、肺癌13例、気胸19例でした。さらなる症例数の増加を目標に日々の診療に当たっています。

医療法人 信愛会 新生病院

〒569-0856 高槻市玉川新町 8-1

電話：072-677-1333

奥村 憲二 (平成 10 年卒)

医療法人信愛会新生病院は、高槻市の南部に位置し、茨木市、枚方市とも非常に近い立地にあります。病床数 225 床の、急性期、慢性期病棟を持つ一般病院であります。最寄の駅は JR 茨木駅、滋賀からでは名神高速大山崎インターが最寄のインターになります。高槻市は人口約 36 万人の大阪府有数のベッドタウンであり、近くには大阪医科大学附属病院や三島救命救急センターがあります。四条畷市にある畷生会脳神経外科病院と交野市にある交野病院は、同じ信愛会グループになり、急性期医療を共に担っています。

現在新生病院では、同門会会長の小玉正智顧問、同門会幹事の塩貝陽而院長を筆頭に、平成 10 年卒の私と、非常勤医師として滋賀医科大学化学療法部目片講師が、診療にあたっており、年間 120 症例前後の手術を施行しております。内訳は一般外科としてのヘルニア手術や虫垂炎、胆嚢炎などの緊急手術症例があります。癌症例としては、胃癌が約 10 症例、大腸癌が約 20 症例あります。肝胆膵悪性疾患の手術症例の際には、滋賀医科大学外科学講座塩見講師にお手伝い頂き、肝切除術や膵頭十二指腸切除術などの難度の高い手術も行っております。麻酔専門医が常勤でおられる為、時間外、緊急時においても適宜対応が可能な体制です。

今年の 4 月からは、滋賀医科大学附属病院より若い外科の先生に当直や手術手伝いに来て頂いており、大学病院と連携できる体制となってきました。

又昨年 10 月より、外来化学療法室を開設致しました。進行癌で抗癌剤加療が必要な方も多く、中心静脈ポートを留置し、外来化学療法を行う方も日に日に増えて参りました。最近では、大阪医科大学消化器内科からのご紹介患者様がおられ、化学療法を施行する症例は増えつつあります。又、アバスチン、アービタックスなどの分子標的薬治療も積極的に行っております。

このように、滋賀とは少し離れた大阪の地で消化器、一般外科全般、化学療法と、広く担当させて頂いております。関連病院の一つとして、若い先生方を中心に少しでも、多くの先生方と共に仕事ができる機会が増えることを願い、原稿を終わらせて頂きたいと思っております。

Emory University

1365A Clifton Road NE Suite A2223 Atlanta GA 30322 USA

Phone : 404-778-3836

池上 博久 (平成 16 年卒)

2008 年の 7 月より、ここエモリー(Emory)大学で成人心臓外科のクリニカルフェローとして働き始めて早 2 年が経ちました。この春より卒後 7 年目を迎え、エモリーでの研修は 3 年目が始まりました。渡米当初は、分からないことやできないことだらけで毎日が辛く、絶望的な日々でした。しかし 1 年 2 年と経ちまだまだ日々困ること自分の未熟さを実感することが多々あるとはいえ以前より少しずつ心の余裕が出てきていることが不思議に感じられます。このエモリー大学はアメリカ南部最大の都市であるジョージア州アトランタに位置します。アトランタは 1996 年に開催された夏季オリンピックで一躍有名になりましたが、コカ・コーラ(缶コーヒー「Georgia」の名は、コカ・コーラ本社が Georgia 州にあることに由来)、CNN、デルタ航空の本社があることでも有名で、いわゆる南部の面影はなく大きなビジネス都市として発展しています。またアトランタの国際空港はデルタ航空のハブであり、過去 10 年以上に渡り世界で最も利用者数が多い空港です。アトランタは四季がはっきりとあり緑のともも多い所です。多くの日本の企業の支社がアトランタにある為、ニューヨークやロサンゼルスに続き、アメリカでは日本人がとても多く住む都市でもあります。エモリー大学は、1886 年創設された私立の総合大学で、3000 校以上あるアメリカの大学の中で常に 10~25 位以内にランクされる最難関大学の一つです。中でも医学部や法学部は有名で、医学部は全米トップ 10 に入るレベルの高さです。特に心臓外科・心臓内科の分野で非常に高い評価を受けています。

エモリーの心臓外科グループは、2 カ所の主幹病院を含む計 5 カ所の病院群からなり、グループ全体で年間約 2,500~3,000 件の心臓外科手術を行っています。その内容は、心臓移植、左室・右室のアシストデバイスの埋め込み、大血管手術をはじめすべての主要心臓外科手術に対応しています。また 2008 年の時点でアメリカ全体では Off-pump での CABG 率が約 20%とされていますが、エモリーでは世界で初めて 3 枝病変に対する Off-pump CABG を行った Dr Puskas を中心に 90%以上の CABG 症例が Off-pump で行われています。最近では、低侵襲の手術にも力をいれており、手術支援ロボットである DaVinci を用いた Robotic CABG、右小開胸での僧帽弁手術、約 5~7cm の小正中切開で行う大動脈弁置換術・上行大動脈置換術・大動脈基部置換(David 手術)、ハイリスク症例に対する心尖部または大腿動脈アプローチでの経カテーテル的大動脈弁置換術なども積極的に行っています。

エモリーでの心臓外科研修は 3 年間のプログラムで、僕のような外国人フェローではない正規のフェローは皆、5 年間の一般外科研修+2 年間のリサーチを終えた卒後 7~10 年目になります。一般的に外科の研修システムが良いとされるここアメリカでも心臓外

科領域はやや特殊で、ほとんどのプログラムでは研修を終了してもすぐには一人前の心臓外科医としては働けないと言われていました。エモリーでは、僕らフェローに比較的多くの執刀あるいは執刀に近いチャンスが与えられる為、基本的に正規の3年間の研修プログラムの間に何とか立ち立できるレベルにまでなり、エモリー出身者はとても良い評価を受けています。

実際の日々の生活は、毎朝5時頃に起きて朝6時前に病院到着。約10人~15人のICUの患者をフェローで分担して診て指示出しをします。そして7時頃からチーフフェローと回診をして方針の最終決定をします。その後は手術症例の入室が朝7時半なので手術室に直行するといった感じです。日中のICU・病棟管理は、PA(Physician Assistant)が行ってくれるので日中にフェローが病棟・ICUのケアをする必要はなく手術だけに集中できます。PAは手術の助手やバイパス手術の為にグラフト採取なども行って、人が足りない忙しい時にはPAだけで胸骨にワイヤーをかけて閉胸をしてくれることもあります。手術が終われば当直でないかぎり基本的にすぐに家に帰ることができます。教育レクチャーは毎週あり、循環器内科との合同カンファレンスも毎週あり、M&Mは月2回あり、教育的なミーティングの機会は比較的充実していると思います。当直は月に8~10回あり、この時は夜間(週末は終日)のICU・病棟管理に加えて、新しい患者の入院や他科からのコンサルトに対応する必要があります。

最後に、このような素晴らしいエモリーでの研修機会を与えて下さった浅井教授、Dr Guyton(エモリー教授)、Dr Puskasを始め、外国での暮らしを日々支えてくれている家族にこの場を借りて心から感謝の意を表したいと思います。

医療法人 徳洲会 岸和田徳洲会病院

〒596-8522 岸和田市加守町 4-27-1

電話：072-445-9915

平松 範彦（平成 16 年卒）

私は平成 16 年に滋賀医大を卒業し、卒後臨床研修を滋賀医大付属病院で行った後、平成 18 年に浅井教授率いる心臓血管外科に入局しました。そして、1 年後、岸和田徳洲会病院へ赴任となりました。大変忙しい中、大学病院では経験できないような数多くのバラエティーに富んだ症例を経験することができ、自分の中で大変大きなインパクトがありました。また、少人数で多くの症例をこなす中、手術手技に関しても、大変多くのことを教えていただき、また経験することができました。1 年後、滋賀医大に戻ることになりましたが、岸和田徳洲会病院での経験が忘れられず、ステントグラフト手術の勉強も兼ねて、平成 22 年 4 月より再度赴任させて頂いています。

岸和田徳洲会病院は、今や日本最大の医療グループである徳洲会の 3 番目の病院として、昭和 52 年に開設された病院です。その後、増床や移転を経て、現在 341 床の病床を持つ、岸和田市のみならず、南大阪地域の中核的機能を担う病院の 1 つとなっています。

中でも、心臓血管外科は、大変 activity が高く、開心術年間約 450 例、大血管手術年間約 100 例、その他の末梢血管手術年間約 70 例という数の手術を行っており、開心術の症例数は近畿で国立循環器病センターに次いで多い施設となっています。また、新しい大血管治療であるステントグラフト手術も当初より手掛け、大血管手術の約 6 割にこの手術を行っています。これらの症例を院長の東上震一先生以下 8 名(10 月現在)のスタッフでやりくりしています。院長の東上先生は開心術の執刀数 5000 例を数える日本有数の経験豊富な心臓外科医であり、大阪のみならず、和歌山をはじめとする他府県からも患者様が多数受診されています。また、最近では本年度より 2 名の先生が、滋賀医大の大学院生となられたほか、平成 22 年 11 月からは滋賀医大心臓血管外科より講師の松林先生が赴任されるなど、スタッフ間の交流も盛んです。

岸和田といえばだんじりが全国的に有名ですが、心臓血管外科でも有名になるべく、スタッフ一同がんばっています。

教室業績

消化器外科・乳腺一般外科

【論文】

<和文著書>

来見良誠, 仲 成幸

輸液治療の実際 よく出会う病態の輸液－疾患・外傷 5. 肝疾患
レジデントノート, 11(増刊): 158~164・2009

奥村憲二, 龍田 健, 村田 聡, 山本 寛, 内藤弘之, 谷 徹

早期胃癌における PDE を用いた ICG 蛍光観察法によるセンチネルリンパ節生検/センチネルリンパ節同定と Navigation Surgery－胃癌
ICG 蛍光 Navigation Surgery のすべて・144~149・株式会社インターメディカ・2009

阿部 元

化学療法による閉経とその臨床的意義

みんなに役立つ乳癌の基礎と臨床・医薬ジャーナル社・631~640・2009”

阿部 元

ガイドライン「乳癌レビュー2009」・メディカルレビュー社・173~179・2009

山本 寛

特集／感染症－予防と治療の実際 Q&A 肥満 アディポネクチンと術後感染の関係は？ 外科手術におけるアディポネクチン測定と術後感染の関係について教えて下さい
肥満と糖尿病・8(4): 503~505・2009

山本 寛, 谷 徹

肥満に対する外科治療 総論 6. 現在の肥満外科治療の問題点
成人病と生活習慣病・40(3): 288~294・2010

山本 寛

知っておきたい消化器の病気 気になる消化器病 胃切除後症候群
消化器 now・48: 4~5・2010

<英文学術論文>

Abe Hajime, Ogawa Hiroki, Okino Takashi, Kato Makoto, Sako Hirotaka, Sano Haruo, Shimomatsuya Takumi, Suwa Hirofumi, Higashide Shunichi

Bi-weekly docetaxel in the adjuvant treatment of node-positive or high-risk breast cancer patients: phase I study of the Shiga Breast Cancer Study Group
Breast Cancer・16: 37~41・2009

Simizu T, Hanasawa K, Sato K, Umeki M, Koga N, Naganuma T, Sato S, Shimonishi T, Ikeda T, Matsuno N, Ono S, Saitoh H, Satoh K, Otani Y, Endo Y, Eguchi Y, Tani T

The Clinical Significance of Serum Procalcitonin Levels following Direct Hemoperfusion with Polymyxin B-Immobilized Fiber Column in Septic Patients with Colorectal Perforation
European Surgical Research・42(2): 109~117・2009

Shimizu Tomoharu, Hanasawa Kazuyoshi, Sato Koichi, Umeki Masahiko, Koga Nobuhiko, Naganuma Tatsushi, Sato Seiji, Shimonishi Tomonori, Ikeda Toshiaki, Matsuno Naoto, Ono Satoshi, Saitoh Hitoshi, Satoh Koshi, Otani Yshimasa, Endo Yoshihiro, Eguchi Yutaka, Tani Tohru : PMX treatment study group

Direct hemoperfusion with polymyxin-B-immobilized fiber columns improves septic hypotension and reduces inflammatory mediators in septic patients with colorectal perforation

Langenbecks Arch Surg・394: 303~311・2009

Kitamura Naomi, Murata Satoshi, Ueki Tomoyuki, Mekata Eiji, R.Todd Reilly, Elizabeth M Jaffee, Tani Tohru

OX40 costimulation can abrogate Foxp3+regulatory T cell-mediated suppression of antitumor immunity

Int. J. Cancer・125: 630~638・2009

Ueki Tomoyuki, Murata Satoshi, Kitamura Naomi, Mekata Eiji, Tani Tohru
Pre-treatment with cyclophosphamide or OX40(CD134) costimulation targeting regulatory T cell function enhances the anti-tumor immune effect of adoptively transferred CD8+T cells from wild-type mice
Molecular Medicine Reports • 2 : 615~620 • 2009

Uji Yoshitaka, Yamamoto Hiroshi, Tsuchihashi Hiroshi, Maeda Kazuhisa, Funahashi Tohru, Shimomura Ichirou, Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Tani Tohru
Adiponectin deficiency is associated with severe polymicrobial sepsis, high inflammatory cytokine levels, and high mortality
Surgery • 145(5) : 550~557 • 2009

Morikawa Shigehiro, Naka Shigeyuki, Murakami Koichiro, Kurumi Yoshimasa, Shiomi Hisanori, Tani Tohru, Hasnine A. Haque, Tokuda Junichi, Hata Nobuhiko, Inubushi Toshiro
Preliminary clinical experiences of a motorized manipulator for magnetic resonance image-guided microwave coagulation therapy of liver tumors
The American Journal of Surgery • 198 : 340~347 • 2009

Tatsuta Takeshi, Okumura Kenji, Shimizu Tomoharu, Mekata Eiji, Murata Satoshi, Yamamoto Hiroshi, Tani Tohru
Severe anorectal injury caused by a jet ski accident: report of a case
日本救急医学会雑誌 • 20(4) : 232~236 • 2009

Miyake T, Kumagai Y, Kato H, Guo Z, Matsushita K, Satoh T, Kawagoe T, Kumar H, Jang MH, Kawai T, Tani T, Takeuchi O, Akira S.
Poly IC-Induced Activation of NK Cells by CD8+ Dendritic Cells via the IPS-1 and TRIF-Dependent Pathways
J. Immunol • 183(4) : 2522~252 • 2009

Matsushita K, Takeuchi O, Standley DM, Kumagai Y, Kawagoe T, Miyake T, Satoh T, Kato H, Tsujimura T, Nakamura H, Akira S.
Zc3h12a is an RNase essential for controlling immune responses by regulating mRNA decay
Nature • 458(7242) : 1185~1190 • 2009

Nitta Norihisa, Ohta Shinichi, Tanaka Toyohiko, Takazakura Ryutaro, Toyama Tetsuya, Sonoda Akinaga, Seko Ayumi, Furukawa Akira, Takahashi Masashi, Murata Kiyoshi, Kurumi Yoshimasa, Tani Toru, Sakamoto Tsutomu, Tabata Yasuhiko
An initial clinical study on the efficacy of cisplatin-releasing gelatin microspheres for metastatic liver tumors
European Journal of Radiology • 71 : 519~526 • 2009

Sonoda Akinaga, Nitta Norihisa, Ohta Shinich, Nitta-Seko, Ayumi, Murata, Satoshi, Jo Jun-ichiro, Tabata Yasuhiko, Takahashi Masashi, Tani Toru, Murata Kiyoshi
Investigation using an HER-2/neu transgenic mouse model of a newly developed MR contrast agent with the effect of an antitumor drug
Journal of Magnetic resonance imaging • 30 : 907~910 • 2009

Uji Yoshitaka, Yamamoto H, Mori T, Akabori H, Tsuchihashi H, Shimizu T, Endo Y, Tani T
Adiponectin deficiency promotes the production of inflammatory mediators while severely exacerbating hepatic injury in mice with polymicrobial sepsis
J Surgical Research • 38 : 301~311 • 2010

Aihara Tomohiko, Takatsuka Yuichi, Ohsumi Shozo, Aogi Kenjiro, Hozumi Yasuo, Imoto Shigeru, Mukai Hirofumi, Iwata Hiroji, Watanabe Toru, Shimizu Chikako, Nakagami Kazuhiko, Tamura Motoshi, Ito Toshikazu, Masuda Norikazu, Ogino Nobuo, Hisamatsu Kazufumi, Mitsuyama Shoshu, Abe Hajime, Tanaka Shiro, Yamaguchi Takuhiro, Ohashi Yasuo
Phase III randomized adjuvant study of tamoxifen alone versus sequential tamoxifen and anastrozole in Japanese postmenopausal women with hormone-responsive breast cancer: N-SAS BC03 study
Breast Cancer Res Treat • 2010

<和文和術論文>

山本 寛, 内藤弘之, 村田 聡, 来見良誠, 谷 徹

ポートサイト再発をきたした胃 GIST の 1 例
日本内視鏡外科学会雑誌・14(3) : 307~312・2009

仲川満弓, 岩川裕美, 栗原美香, 池田麻美, 丈達知子, 船越紀子, 兼田千尋, 中西直子, 佐々木雅也, 柏木厚典, 塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹
間接熱量測定を用いた肝切除周術期の栄養管理・栄養一
評価と治療・25(6) : 33(493)~36(496)・2009

竹林克士, 仲 成幸, 塩見尚礼, 来見良誠, 谷 徹
胆管癌と識別困難であった胆管断端神経腫の 1 例
日本臨床外科学会雑誌・70(2) : 512~515・2009

竹林克士, 園田寛道, 山本 寛, 内藤弘之, 来見良誠, 谷 徹
根治度 C 進行胃癌に対して Low dose FP 療法により CR を得た 6 年後に脾動脈周囲リンパ節単独再
発をきたし切除を行った 1 例
外科・71(9) : 992~996・2009

竹林克士, 西村彰一, 小玉正智
大動脈, 下大動脈, 右腎の合併切除を必要とした後腹膜原発骨外性骨肉腫の 1 例
日本臨床外科学会雑誌・70(5) : 1546~1550・2009

清水智治, 遠藤善裕, 来見良誠, 仲 成幸, 谷 徹
消化管における IVR 直腸癌の骨盤内再発に対する IVMR マイクロ波凝固療法
消化器外科・32(12) : 1847~1855・2009

龍田 健, 清水智治, 目片英治, 村田 聡, 仲 成幸, 土橋洋史, 谷 徹
腹部救急領域に対する疾患での血清プロカルシトニン値を指標とした抗菌薬中止時期決定の試み
日本腹部救急医学会雑誌・29(6) : 911~915・2009

宇治祥隆, 山本 寛, 土橋洋史, 赤堀浩也, 森 毅, 清水智治, 遠藤善裕, 谷 徹
敗血症における Adiponectin の役割について-Adiponectin 欠損マウス敗血症モデルを用いて
日本 Shock 学会雑誌・24(2) 別冊 : 60~64・2009

土橋洋史, 塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹, 石田光明
非機能性巨大副腎嚢胞の 1 例
日本臨床外科学会雑誌・70(9) : 2823~2827・2009

園田寛道, 山本 寛, 村田 聡, 谷 徹
胃癌手術における ICG 蛍光法を用いたセンチネルリンパ節同定法
外科・71(9) : 943~946・2009

清水智治, 龍田 健, 村田 聡, 山本 寛, 山口智弘, 高島明子, 樽本祥子, 松原亜季子, 九嶋亮治, 谷 徹
外単径ヘルニア嚢内に発生した外性子宮内膜症の 1 例
日本消化器外科学会雑誌・43(4) : 466~471・2010

梅田朋子, 阿部 元, 張 弘富, 清水智治, 森 毅, 久保田良浩, 河合由紀, 田中麻紀子, 来見良誠, 谷 徹
Capecitabine+Docetaxel 併用療法における手足症候群に対して Vitamin B6 が有効であった乳癌肝転移の 1 例
癌と化学療法・37(4) : 687~689・2010

谷 徹
新しい肥満治療アルゴリズム
治療学・44(4) : 120~127・2010

【学会発表】

<国際学会 招待講演>

Endo Yshihiro

Indications and reimbursement for apheresis therapy in Japan

12th world Apheresis Association and 7th International Society for Apheresis・2009 March・Argentina

Endo Yshihiro

Cytokine removal by apheresis techniques in the critically ill

12th world Apheresis Association and 7th International Society for Apheresis • 2009 March • Argentina

<国際学会 ワークショップ>

Naka Shigeyuki, Kurumi Yoshimasa, Sato Koichiro, Murakami Koichirou, Shiomi Hisanori, Morikawa Shigehiro, Tani Tohru

MR-compatible flexible endoscope for Natural Orifice transluminal Endoscopic surgery (NOTES)

CARS 2009 Computer Assisted Radiology and Surgery –23rd International Congress and Exhibition– • 2009 June • Germany

<国際学会 一般発表>

Morikawa Shigehiro, Hasnine A Haque, Naka Shigeyuki, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru, Inubushi Toshiro

An Optical and Electromagnetic Hybrid Tracking System for MR Image Guided Interventional Procedures

ISMRM 17th Scientific Meeting & Exhibition • 2009 April • Hawaii

Morikawa Shigehiro, Inubushi Toshiro, Naka Shigeyuki, Murakami Koichirou, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru, Hasnine A Haque, J. Tokuda, Hata Nobuhiko

Increased applicability of a manipulator to assist MR guided microwave ablation of liver tumors and clinical experiences of 14 cases

ISMRM 17th Scientific Meeting & Exhibition • 2009 April • Hawaii

Abe Hajime, Umeda Tomoko, Kawai Yuki, Tanaka Makiko, Shimizu Tomoharu, Chou Hiroto, Kubota Yoshihiro, Mekata Eiji, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru

Feasibility and toxicity of docetaxel before or after fluorouracil, epirubicin, and cyclophosphamide as adjuvant chemotherapy for early-stage breast cancer

45th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology • 2009 May • Florida

Murata Satoshi, Naitoh Hiroyuki, Yamamoto Hiroshi, Mekata Eiji, Shimizu Tomoharu, Shiomi Hisanori, Naka Shigeyuki, Abe Hajime, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru

Phase II trial of adjuvant hyperthermic intraperitoneal chemotherapy with three drugs for the prophylactic treatment of carcinomatosis after resection of advanced gastric cancer

45th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology • 2009 May • Florida

Yamamoto Hiroshi, Maeda Kazuhisa, Uji Yoshitaka, Shimomura Ichiro, Tani Tohru

Reduction of plasma adiponectin levels and risk of bacterial infection after major abdominal surgery

Digestive Disease Week 2009 (DDW2009) • 2009 May • Chicago

Yamamoto Hiroshi, Maeda Kazuhisa, Uji Yoshitaka, Shimizu Tomoharu, Tani Tohru

Adiponectin deficiency promotes the reduction of inflammatory mediators while severely exacerbating hepatic injury in mice with polymicrobial sepsis

2nd Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association (APHPBA 2009) • 2009 March • Thailand

Maeda Kazuhisa, Yamamoto Hiroshi, Uji Yoshitaka, Tani Tohru, Shimomura Ichiro

Reduction of plasma adiponectin levels predicts postoperative bacterial infections

2nd Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association (APHPBA 2009) • 2009 March • Thailand

<全国学会 シンポジウム>

山本 寛, 村田 聡, 前川 聡, 柏木厚典, 谷 徹

当院における肥満症外科治療の導入について

第2回日本肥満症治療学会学術集会 • 2009年7月 • 東京

阿部 元, 梅田朋子, 森 毅, 張 弘富, 久保田良浩, 来見良誠, 谷 徹

蛍光測光法を用いた乳癌センチネルリンパ節生検

第33回日本リンパ学会総会 • 2009年7月 • 大阪

来見良誠, 仲 成幸, 塩見尚礼, 佐藤浩一郎, 村上耕一郎, 村山浩之, Hasnine A. Haque, 森川茂
廣, 谷 徹
信頼性を高める医療の構築-外科手術におけるシミュレーションとナビゲーション-
第18回日本コンピュータ外科学会・2009年11月・東京

清水智治, 龍田 健, 山口智弘, 山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 赤堀浩也, 目片英治, 遠藤善
裕, 谷 徹
悪性腫瘍に対する化学療法中に発症した穿孔性腹膜炎に対する緊急手術例の検討
第46回日本腹部救急医学会・2010年3月・富山

<全国学会 ワークショップ>

来見良誠, 清水智治, 阿部 元, 村田 聡, 張 弘富, 久保田良浩, 森 毅, 谷 徹
滋賀県ヘルニア研究会による県単位での症例登録の試み
第7回日本ヘルニア学会学術集会・2009年4月・東京

清水智治, 遠藤善裕, 目片英治, 山本 寛, 村田 聡, 塩見尚礼, 仲 成幸, 森 毅, 赤堀浩也,
田畑貴久, 山口 剛, 来見良誠, 谷 徹
消化器外科周術期の血中微生物構成成分の変動
第34回日本外科系連合学会学術集会・2009年6月・東京

清水智治, 龍田 健, 山口智弘, 目片英治, 遠藤善裕, 村田 聡, 前平博充, 塩見尚礼, 茂籠邦
彦, 谷 徹
プロカルシトニンテストを指標とした大腸癌手術での予防的抗菌薬の投与の試み
第34回日本外科系連合学会学術集会・2009年6月・東京

吉岡豊一, 清水智治, 三宅 亨, 宇治祥隆, 谷 徹, 五月女隆男, 江口 豊, 中永士師明, 吉村
規子, 八木克史, 奥田和美, 古屋智規, 來住優輝, 青野多聞, 中 敏夫
敗血症に対するPlasma dia-filtration (PDF) の有効性に関する多施設研究
第20回日本急性血液浄化学会学術集会・2009年10月・札幌

清水智治, 龍田 健, 山口智弘, 目片英治, 遠藤善裕, 村田 聡, 前平博充, 塩見尚礼, 茂籠邦
彦, 谷 徹
プロカルシトニンテストを指標とした大腸癌手術での予防的抗菌薬の投与の試み
第22回日本外科感染症学会総会・2009年12月・山口

村田 聡, 内藤弘之, 山本 寛, 山口 剛, 目片英治, 龍田 健, 塩見尚礼, 清水智治, 仲 成
幸, 東田宏明, 森 毅, 山口智弘, 前平博充, 来見良誠, 谷 徹
術中腹腔内温熱化学療法による、腹腔内洗浄細胞診陽性胃癌の治療
第82回日本胃癌学会総会・2010年3月・新潟

<全国学会 パネルディスカッション>

来見良誠, 仲 成幸, 塩見尚礼, 村山浩之, 村上耕一郎, 佐藤浩一郎, 山口 剛, 清水智治, 阿
部 元, 森川茂廣, 谷 徹
MR Navigation Surgery の開発と肝胆膵領域への応用
第21回日本肝胆膵外科学会・2009年6月・名古屋

山本 寛, 村田 聡, 山口 剛, 矢澤武史, 来見良誠, 谷 徹
当院における肥満外科手術の現状と問題点について
第22回日本内視鏡外科学会総会・2009年12月・東京

<全国学会 ビデオセッション>

仲 成幸, 谷 徹, Duc Tran, Khan Do, 村山浩之, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 来見良誠
肝胆膵外科手術におけるマイクロ波凝固手術デバイスの有用性
第21回日本肝胆膵外科学会・2009年6月・名古屋

<全国学会 サージカルフォーラム>

阿部 元, 張 弘富, 清水智治, 久保田良浩, 河合由紀, 梅田朋子, 目片英治, 来見良誠, 谷 徹
乳癌術後補助化学療法としてのDocetaxel 100 認容性及び安全性の検討
第109回日本外科学会定期学術集会・2009年4月・福岡

河合由紀, 塩見尚礼, 糸井尚子, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
リンパ浮腫に対する細胞移植治療の検討
第109回日本外科学会定期学術集会・2009年4月・福岡

佐藤浩一郎, 仲 成幸, 来見良誠, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 森川茂廣, Haque Hasnine, 谷 徹
新しいMR 対応位置センサー付き内視鏡と次世代内視鏡下手術
第 109 回日本外科学会定期学術集会・2009 年 4 月・福岡

矢澤武史, 山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 来見良誠, 谷 徹
当科における胃切除に対するドレーンの種類と SSI との関連について
第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・京都

<全国学会 会長賞選考講演>

赤堀浩也, 宇治祥隆, 森 毅, 清水智治, 山本 寛, 遠藤善裕, IH Chaudry, 谷 徹
Mechanism of the anti-inflammatory effect of 17β -estradiol on brain after
Trauma-Hemorrhage
第 24 回日本 Shock 学会・2009 年 5 月・金沢

宇治祥隆, 山本 寛, 土橋洋史, 赤堀浩也, 森 毅, 清水智治, 遠藤善裕, 谷 徹
敗血症における Adiponectin の役割について-Adiponectin 欠損マウス敗血症モデルを用いて-
第 24 回日本 Shock 学会・2009 年 5 月・金沢

<全国学会 一般発表>

目片英治, 村田 聡, 塩見尚礼, 仲 成幸, 山本 寛, 清水智治, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
PSK の腫瘍ない酵素 DPD および TS に及ぼす影響についての検討
第 109 回日本外科学会定期学術集会・2009 年 4 月・福岡

村田 聡, 内藤弘之, 山本 寛, 龍田 健, 井内武和, 山口 剛, 森 毅, 佐藤浩一郎, 小島正
継, 目片英治, 仲 成幸, 塩見尚礼, 清水智治, 阿部 元, 張 弘富, 久保田良浩, 梅田朋子,
遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
3 剤を併用した術中腹腔内温熱化学療法 (HIPEC) による進行胃癌の治療効果
第 109 回日本外科学会定期学術集会・2009 年 4 月・福岡

来見良誠, 佐藤浩一郎, 張 弘富, 梅田朋子, 河合由紀, 田中麻紀子, 森 毅, 久保田良浩, 高
村尚吾, 飯田 香, 山内寛紀
電子情報デザイン技術を用いたマンモグラフィ-自動診断の検討
第 109 回日本外科学会定期学術集会・2009 年 4 月・福岡

山口 剛, 山本 寛, 村田 聡, 来見良誠, 谷 徹
小腸多発 GIST が von Recklinghausen の診断契機となった 1 例
第 109 回日本外科学会定期学術集会・2009 年 4 月・福岡

森 毅, 村田 聡, 清水智治, 張 弘富, 久保田良浩, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
乳癌に対する、intraductal approach による治療実験
第 109 回日本外科学会定期学術集会・2009 年 4 月・福岡

梅田朋子, 阿部 元, 張 弘富, 清水智治, 久保田良浩, 河合由紀, 田中麻紀子, 佐藤浩一郎,
来見良誠
赤外観察カメラシステム (PDE) を用いた乳癌センチネルリンパ節蛍光測光法
第 109 回日本外科学会定期学術集会・2009 年 4 月・福岡

清水智治, 来見良誠, 阿部 元, 村田 聡, 張 弘富, 久保田良浩, 森 毅, 谷 徹
鼠経部に有痛性腫瘍を合併した子宮内膜症の一例
第 7 回日本ヘルニア学会学術集会・2009 年 4 月・東京

久保田良浩, 張 弘富, 目片英治, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹, 多賀 崇, 太田 茂
骨転移及び肝転移にて再発し治療に難渋している巨大賢明細胞肉腫 (CCSK) の 1 例
第 46 回日本小児外科学会学術集会・2009 年 6 月・大阪

清水智治, 阿部 元, 遠藤善裕, 目片英治, 山本 寛, 村田 聡, 塩見尚礼, 仲 成幸, 森 毅,
梅田朋子, 山口 剛, 来見良誠, 森川茂廣, 谷 徹
開放型 MR ナビゲーションによる乳癌温存治療の臨床研究
第 34 回日本外科系連合学会学術集会・2009 年 6 月・東京

山口 剛, 龍田 健, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 宮田 悠, 来見良誠, 谷 徹, 金崎周造, 神原篤志

内腸骨動脈瘤-直腸瘻の1例

第34回日本外科系連合学会学術集会・2009年6月・東京

塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹

GEM+TS-1投与により切除可能となった腭頭部癌の1例

第21回日本肝胆膵外科学会・2009年6月・名古屋

来見良誠, 梅田朋子, 張 弘富, 村田 聡, 清水智治, 小島正継, 河合由紀, 田中麻紀子, 森 毅, 久保田良浩, 高村尚吾, 飯田 香, 山内寛紀, 阿部 元

マンモグラフィ診断支援ツールの開発

第17回日本乳癌学会学術総会・2009年7月・東京

清水智治, 阿部 元, 梅田朋子, 村田 聡, 村上耕一郎, 河合由紀, 森 毅, 森川茂廣, 来見良誠, 谷 徹

リアルタイムMRナビゲーションによる乳癌マイクロ波凝固療法の検討

第17回日本乳癌学会学術総会・2009年7月・東京

森 毅, 阿部 元, 村田 聡, 梅田朋子, 清水智治, 小島正継, 張 弘富, 来見良誠, 谷 徹

乳癌に対する抗癌剤乳管内投与療法との検討

第17回日本乳癌学会学術総会・2009年7月・東京

梅田朋子, 阿部 元, 張 弘富, 久保田良浩, 清水智治, 小島正継, 森 毅, 河合由紀, 田中麻紀子, 来見良誠

赤外線蛍光測光法によるセンチネルリンパ節生検における肥満の影響について

第17回日本乳癌学会学術総会・2009年7月・東京

阿部 元, 梅田朋子, 河合由紀, 田中麻紀子, 森 毅, 張 弘富, 清水智治, 目片英治, 来見良誠, 谷 徹

トラスツズマブ術後補助療法における投与時間短縮時の安全性の検討

第17回日本乳癌学会学術総会・2009年7月・東京

河合由紀, 阿部 元, 梅田朋子, 張 弘富, 久保田良浩, 来見良誠

微細石灰化病変に対する超音波ガイド下マンモトーム生検の検討

第17回日本乳癌学会学術総会・2009年7月・東京

小島正継, 阿部 元, 田中麻紀子, 河合由紀, 森 毅, 張 弘富, 久保田良浩, 梅田朋子, 来見良誠, 谷 徹

術前化学療法 (Biweekly DOC75)によりpCRとなったトリプルネガティブ乳癌の1例

第17回日本乳癌学会学術総会・2009年7月・東京

田中麻紀子, 阿部 元, 梅田朋子, 河合由紀, 小島正継, 森 毅, 清水智治, 張 弘富, 久保田良浩, 来見良誠

非浸潤性嚢胞内乳癌の1例

第17回日本乳癌学会学術総会・2009年7月・東京

小関陽子, 梅田朋子, 阿部 元, 市川麻理, 澤井 香, 張 弘富, 久保田良浩, 森 毅, 河合由紀, 来見良誠

エホバの証人患者における乳腺悪性腫瘍の3例

第17回日本乳癌学会学術総会・2009年7月・東京

市川麻理, 阿部 元, 梅田朋子, 小関陽子, 澤井 香, 河合由紀, 田中麻紀子, 森 毅, 清水智治, 張 弘富, 久保田良浩, 来見良誠

膠原病患者に発生した乳癌の5例

第17回日本乳癌学会学術総会・2009年7月・東京

澤井 香, 阿部 元, 梅田朋子, 市川麻理, 小関陽子, 河合由紀, 森 毅, 清水智治, 張弘富, 久保田良浩, 来見良誠

内視鏡補助下に摘出した脂肪注入後異物肉芽腫に1例

第17回日本乳癌学会学術総会・2009年7月・東京

服部聖子, 今堀智恵子, 作田裕美, 来見良誠, 阿部 元

乳癌術後患者のリンパ浮腫外来における受診行動
第 17 回日本乳癌学会学術総会・2009 年 7 月・東京

生田大二, 清水智治, 龍田 健, 目片英治, 塩見尚礼, 遠藤善裕, 山本 寛, 村田 聡, 来見良誠, 谷 徹
大腸癌手術でのプロカルシトニンテストをガイドとした術後予防的抗菌薬の投与方法の検討
第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

山本 寛, 江口 豊, 村田 聡, 井内武和, 佐藤浩一郎, 来見良誠, 谷 徹, 笠間和典
肥満外科手術におけるフォンダパリヌクスの使用経験
第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹
肝切除周期術の栄養状態と評価
第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

児玉泰一, 清水智治, 龍田 健, 来見良誠, 阿部 元, 張 弘富, 久保田良浩, 村田 聡, 山本寛, 谷 徹
鼠形部に有痛性腫瘤を形成した子宮内膜症の一例
第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

清水智治, 目片英治, 龍田 健, 遠藤善裕, 山本 寛, 村田 聡, 塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹
当院における結腸癌に対する腹腔鏡下結腸切除の現状
第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

森 毅, 清水智治, 龍田 健, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹
ストーマ閉鎖術での皮膚単純縫合閉鎖術と環状縫合閉鎖術の比較検討
第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

仲 成幸, 来見良誠, 村山浩之, 塩見尚礼, 村上耕一郎, 佐藤浩一郎, Hasnine Haque, 森川茂廣, 谷 徹
肝癌局所治療における MR guided Robotics Surgery の有用性
第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

小島正継, 清水智治, 来見良誠, 谷 徹
鼠形ヘルニア偽還納の 1 症例
第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

佐藤浩一郎, 仲 成幸, 塩見尚礼, 来見良誠, 谷 徹
MR 対応内視鏡と次世代内視鏡下手術
第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

赤堀浩也, 清水智治, 目片英治, 龍田 健, 遠藤善裕, 山本 寛, 村田 聡, 塩見尚礼, 来見良誠, 谷 徹
当院における潰瘍性大腸炎に対する外科治療の現状
第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

宇治祥隆, 山本 寛, 土橋洋史, 赤堀浩也, 森 毅, 清水智治, 遠藤善裕, 谷 徹
敗血症誘導性肝障害に対する Adiponectin の役割-Adiponectin ノックアウトマウスを用いて-
第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

山本 寛, 宇治祥隆, 土橋洋史, 前田和久, 前川 聡, 下村伊一郎, 柏木厚典, 谷 徹
敗血症におけるアディポネクチンの役割
第 51 回日本消化器病学会大会・2009 年 10 月・京都

村山浩之: 位置トラッキングセンサー内臓 MR 対応ファイバースコープによる内視鏡外科手術システムの開発
第 37 回日本磁気共鳴医学会大会・2009 年 10 月・横浜

塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹
Detection of TM4SF4 mRNA in peripheral blood mononuclear cells of patients with hepatocellular carcinoma/肝細胞癌患者における血中 TM4SF4 mRNA 検出の意義

第 68 回日本癌学会学術総会・2009 年 10 月・横浜

村田 聡, 植木智之, 北村直美, 目片英治, 龍田 健, 山口 剛, 塩見尚礼, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
OX40 補助刺激によるエフェクターT 細胞機能増強と制御性 T 細胞機能抑制作用により、細胞治療における移入 CTL の機能は強化される

第 68 回日本癌学会学術総会・2009 年 10 月・横浜

阿部 元, 梅田朋子, 森 毅, 河合由紀, 田中麻紀子, 来見良誠, 大江秀明, 小川博暉, 沖野 孝, 加藤 誠, 迫 裕孝, 下松谷匠, 東出俊一
転移・再発乳癌に対する capecitabine + docetaxel 併用療法の検討 (滋賀 BCSG-05) : 第 1 報

第 47 回日本癌治療学会学術集会・2009 年 10 月・横浜

村田 聡, 山本 寛, 山口 剛, 龍田 健, 目片英治, 塩見尚礼, 清水智治, 仲 成幸, 阿部 元, 梅田朋子, 森 毅, 久保田良浩, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
胃癌細胞、膵癌細胞に対する抗癌剤の抗腫瘍効果と温熱増感効果

第 47 回日本癌治療学会学術集会・2009 年 10 月・横浜

Hasnine A. Haque, 森川茂廣, 仲 成幸, 来見良誠, 村山浩之, 谷 徹
画像誘導手術ナビゲーションのためのバーチャルリアリティーの応用

第 18 回日本コンピュータ外科学会大会・2009 年 11 月・東京

清水智治, 目片英治, 山口智弘, 遠藤善裕, 安藤 朗, 辻川知之, 佐々木雅也, 谷 徹
当院における潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下手術の現状

第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会・2009 年 11 月・福岡

清水智治, 目片英治, 龍田 健, 山口智弘, 遠藤善裕, 山本 寛, 村田 聡, 塩見尚礼, 仲 成幸, 前平博充, 阿部 元, 森 毅, 谷 徹
当院における結腸癌に対する腹腔鏡下結腸切除術の現状

第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・京都

龍田 健, 目片英治, 山口智弘, 前平博充, 仲 成幸, 塩見尚礼, 清水智治, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
大腸癌肝転移に対して化学療法後に肝切除術を行った症例の検討

第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・京都

東田宏明, 塩見尚礼, 伊藤 文, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹
胆管内腫瘍を認めた膵グルカゴノーマの 1 例

第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・京都

塩見尚礼, 伊藤 文, 仲 成幸, 東田宏明, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
当院における胆道・膵癌患者に対する終末期医療の現状

第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・京都

前平博充, 山口智弘, 清水智治, 龍田 健, 塩見尚礼, 仲 成幸, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
S 状結腸原発の絨毛癌の 1 例

第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・京都

山口智弘, 清水智治, 目片英治, 前平博充, 龍田 健, 塩見尚礼, 仲 成幸, 村田 聡, 山本 寛, 遠藤善裕, 来見良誠, 九嶋亮治, 谷 徹
Stage II 大腸癌の再発危険因子に関する検討

第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・京都

山口 剛, 阿部 元, 森 毅, 張 弘富, 久保田良浩, 梅田朋子, 来見良誠, 谷 徹
乳癌甲状腺転移の 1 例

第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・京都

伊藤 文, 仲 成幸, 塩見尚礼, 東田宏明, 来見良誠, 谷 徹
肝細胞癌と識別が困難であった肝内脾症の 1 例

第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・京都

徳田 彩, 山口智弘, 清水智治, 前平博充, 龍田 健, 塩見尚礼, 仲 成幸, 村田 聡, 山本 寛,
目片英治, 遠藤善裕, 来見良誠
術前に S 状結腸癌による腸重積症と診断し得た一例
第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・京都

伊藤友香, 龍田 健, 清水智治, 前平博充, 山口智弘, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹
骨盤内を占拠する巨大脂肪肉腫の一切除例
第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・京都

清水智治, 目片英治, 山口智弘, 遠藤善裕, 安藤 朗, 辻川知之, 佐々木雅也, 谷 徹
当院における潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下手術の現状
第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会・2009 年 11 月・福岡

清水智治, 龍田 健, 山口智弘, 目片英治, 遠藤善裕, 村田 聡, 前平博充, 塩見尚礼, 赤堀浩
也, 谷 徹
大腸穿孔症例での血中プロカルシトニン値による予後予測
第 22 回日本外科感染症学会総会・2009 年 12 月・山口

清水智治, 龍田 健, 山口智弘, 目片英治, 遠藤善裕, 村田 聡, 塩見尚礼, 来見良誠, 谷 徹
潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下手術の現状
第 22 回日本内視鏡外科学会総会・2009 年 12 月・東京

清水智治, 龍田 健, 山口智弘, 目片英治, 遠藤善裕, 山本 寛, 村田 聡, 塩見尚礼, 来見良
誠, 谷 徹
大腸癌手術における開腹手術と腹腔鏡手術での医療コスト比較
第 22 回日本内視鏡外科学会総会・2009 年 12 月・東京

山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 児玉泰一, 前平博充, 東田宏明, 塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良
誠, 谷 徹
洗浄細胞診陽性 AFP 産生胃癌、同時性肝転移に対して、術後化学療法を施行し CR を確認できた 1
例
第 82 回日本胃癌学会総会・2010 年 3 月・新潟

赤堀浩也, 清水智治, 山本 寛, 遠藤善裕, 谷 徹
外傷性出血性ショックにおける脳内サイトカインと神経内分泌反応
第 46 回日本腹部救急医学会総会・2010 年 3 月・富山

< 地方会・研究会 >

来見良誠：肝胆膵外科の現状と将来
第 95 回滋賀県医師会（特別講演）・2009 年 6 月・大津

阿部 元：乳癌術前・術後化学療法 - St. Gallen2009 コンセンサス - を踏まえ滋賀医科大学附
属病院における乳癌術後化学療法の成績
北陸乳がん学術講演会（特別講演）・2009 年 10 月・金沢

阿部 元
乳がん最新情報－乳癌治療をもっとよく知ろう－
滋賀乳がん勉強会（特別講演）・2009 年 12 月・長浜

阿部 元
乳がんに対する薬物療法
がんプロフェッショナル養成プラン臨床腫瘍学 e-ラーニング聴講（特別講演）・2009 年 11 月・京
都

谷 徹
これからの医療と山科精器に期待するもの
山科精器株式会社 創業 70 周年・設立 60 周年記念並びにメディカル事業部発足祝賀会（特別講
演）・2009 年 10 月・大津

谷 徹
生体透視画像を用いた次世代手術システムの開発
第 10 回次世代医療システム産業化フォーラム（特別講演）・2010 年 1 月・神戸

久保田良浩
小児の急性腹症
第2回小児救急医療地域医師研修会（特別講演）・2009年9月・滋賀

赤堀浩也, 清水智治, 山本 寛, 遠藤善裕, 小幡 徹, 谷 徹
消化器外科周術期における高感度エンドトキシン測定法による血中エンドトキシンの評価
第15回日本エンドトキシン研究会（シンポジウム）・2009年11月・東京

仲 成幸
PD6, MR Guided NOTES システムの開発
第3回NOTES研究会（パネルディスカッション）・2009年12月・東京

目片英治
Chugai Colorectal Cancer Symposium in Shiga～XELODA/AVASTIN 適応追加記念講演会～（パネル
ディスカッション）・2010年2月・草津

目片英治
当院におけるセツキシマブ治療経験例について
滋賀県アービタックス適正使用セミナー・2009年4月・草津

目片英治
当院におけるセツキシマブの治療経験例について
滋賀県大腸がん治療セミナー・2009年4月・草津

伊藤 文, 仲 成幸, 井内武和, 東田宏明, 塩見尚礼, 来見良誠, 谷 徹
胆道内腫瘍の1例
第157回滋賀肝・胆・膵勉強会・2009年4月・草津

張 弘富
乳房再建術について
滋賀乳がん学術講演会・2009年5月・草津

阿部 元
Kanazawa Breast Cancer Forum・2009年5月・金沢

塩見尚礼, 仲 成幸, 伊藤 文, 東田宏明, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹
当院における胆膵癌患者に対する終末期医療の現状
第95回滋賀県医師会・2009年6月・大津

山口智弘, 目片英治, 清水智治, 前平博充, 龍田 健, 遠藤善裕, 谷 徹
進行大腸がんの化学療法に関するアバスタチン導入前後の検討
Colorectal Cancer Expert Meeting in SHIGA 2009・2009年6月・草津

山口智弘, 清水智治, 目片英治, 龍田 健, 遠藤善裕, 九嶋亮治, 谷 徹
Stage II 大腸癌の予後不良因子に関する検討
第71回大腸癌研究会・2009年7月・大宮

龍田 健
外科からみた腹痛
第6回卒後臨床研修イブニングセミナー・2009年7月・滋賀医科大学

山口 剛, 矢澤武史, 村田 聡, 山本 寛, 谷 徹
当院の食道癌手術における助手補助腹腔鏡手術（HALS）導入の影響
第36回京滋食道疾患懇話会・2009年7月・京都

仲 成幸
肝癌に対する局所治療について
プレミネントミニディスカッションミーティング・2009年7月・大津

村田 聡
進行胃癌に対する腹腔内温熱科学療法について
プレミネントミニディスカッションミーティング・2009年7月・大津

久保田良浩, 森 毅, 張 弘富, 梅田朋子, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹, 柳 貴英, 越田繁樹
胎児期に中腸軸捻転を認め短腸症候群となった1例
第45回日本小児外科学会近畿地方会・2009年8月・神戸

久保田良浩, 森 毅, 張 弘富, 塩見尚礼, 仲 成幸, 梅田朋子, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹,
水本明良
外傷性脾損傷の1例
第45回日本小児外科学会近畿地方会・2009年8月・神戸

久保田良浩, 森 毅, 張 弘富, 梅田朋子, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹, 加藤博文, 多賀 崇,
森 麻美
両側乳房肥大にて発見された卵巣腫瘍の1例
第45回日本小児外科学会近畿地方会・2009年8月・神戸

張 弘富, 阿部 元, 黒川正人, 梅田朋子, 久保田良浩, 来見良誠, 谷 徹
垂直型オープンMR装置による正常および再建乳房の立位での内部形態観察
第58回京滋乳癌研究会・2009年9月・京都

久保田良浩
小児の急性腹症
平成21年度第2回小児救急医療地域医師研修会・2009年9月・栗東

谷 徹
脇海道先生を偲んで
第28回Microwave Surgery研究会・2009年9月・久留米

来見良誠, 仲 成幸, 村山浩之, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 森川茂廣, Hasnine A Haque, 谷 徹
肝腫瘍に対するMR対応ファイバースコープによるMR guided microwave surgery
第28回Microwave Surgery研究会・2009年9月・久留米

仲 成幸, 来見良誠, 村山浩之, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 森川茂廣, Hasnine A Haque, 谷 徹
肝臓に対するMR guided Robotics Surgeryによるマイクロ波凝固療法
第28回Microwave Surgery研究会・2009年9月・久留米

仲 成幸, Do Trong Kahn, Quoc Tran Dinh, 村山浩之, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 来見良誠, 谷 徹
腹部外科手術におけるマイクロ波凝固手術デバイスに有用性
第28回Microwave Surgery研究会・2009年9月・久留米

村山浩之, 仲 成幸, Quoc Tran Dinh, Do Trong Kahn, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 来見良誠, 谷 徹
マイクロ波バイポーラー鑷子の開発
第28回Microwave Surgery研究会・2009年9月・久留米

山本 寛, 山口 剛, 村田 聡, 来見良誠, 谷 徹
糖尿病合併胃癌患者に対する胃切除術による糖尿病改善効果の検討-十二指腸および上部小腸の
バイパス手術の有無による影響について-
第39回胃外科・術後障害研究会・2009年10月・仙台

谷 徹
滋賀医科大学外科学の先進がん医療
しゃくなげ会 教養学習会・2009年10月・滋賀医科大学

赤堀浩也, 清水智治, 山本 寛, 遠藤善裕, 小幡 徹, 谷 徹
消化器外科周術期における高感度エンドトキシン測定法による血中エンドトキシンの評価
第15回日本エンドトキシン研究会・2009年11月・東京

東田宏明, 塩見尚礼, 矢澤武史, 森 毅, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹
胆管腫瘍栓を認めたグルカゴノーマ肝転移の一切除例
第96回滋賀県外科医会・2009年11月・大津

谷 徹
酸化チタンによる新しい有機物処理機能について
平成21年度滋賀県産学官ニーズ・シーズプラザ・2009年11月・大津

久保田良浩, 張 弘富, 手塚則明, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹, 上羽智子, 加藤博文, 多賀 崇, 柴田晶美

SVC 症候群の 1 例

第 9 回京滋小児外科フォーラム・2009 年 11 月・京都

張 弘富, 阿部 元, 梅田朋子, 久保田良浩, 森 毅, 来見良誠

腹直筋皮弁による乳房再建時の、赤外線カメラ (PDE) を用いた皮弁血流評価法の経験

第 7 回日本乳癌学会近畿地方会・2009 年 12 月・神戸

北村美奈, 梅田朋子, 阿部 元, 森 毅, 張 弘富, 久保田良浩, 河合由紀, 来見良誠

豊胸術後の乳癌の一例

第 7 回日本乳癌学会近畿地方会・2009 年 12 月・神戸

森 毅, 清水智治, 張 弘富, 久保田良浩, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹

滋賀ヘルニア研究会参加施設におけるヘルニア分類改定後のヘルニア手術症例の検討

第 9 回滋賀ヘルニア研究会・2009 年 12 月・大津

東田宏明, 清水智治, 龍田 健, 山口智弘, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹

小腸ストマ造設時の癒着防止フィルム使用の工夫

第 8 回癒着制御研究会・2009 年 12 月・大津

清水智治, 目片英治, 龍田 健, 山口智弘, 遠藤善裕, 谷 徹

当院における内視鏡治療後追加切除症例の検討

第 72 回大腸癌研究会・2010 年 1 月・久留米

山口智弘, 清水智治, 目片英治, 龍田 健, 遠藤善裕, 谷 徹

Stage III 大腸癌の再発危険因子に関する検討

第 72 回大腸癌研究会・2010 年 1 月・久留米

龍田 健, 清水智治, 目片英治, 山口智弘, 遠藤善裕, 山本 寛, 山口 剛, 村田 聡, 谷 徹

原発性小腸癌 5 症例の検討

第 72 回大腸癌研究会・2010 年 1 月・久留米

塩見尚礼, 仲 成幸, 森 毅, 矢澤武史, 伊藤 文, 前平博充, 山口智弘, 山口 剛, 東田宏明, 龍田 健, 久保田良浩, 張 弘富, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 梅田朋子, 目片英治, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹

当院における膵癌治療の現状

滋賀消化器研究会 第 64 回学術講演・2010 年 1 月・草津

山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 塩見尚礼, 山口智弘, 森 毅, 矢澤武史, 前平博充, 伊藤 文, 東田宏明, 龍田 健, 張 弘富, 清水智治, 仲 成幸, 久保田良浩, 梅田朋子, 目片英治, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹

食道癌手術の低侵襲化への取り組み

滋賀消化器研究会 第 64 回学術講演・2010 年 1 月・草津

村田 聡, 山本 寛, 山口 剛, 塩見尚礼, 山口智弘, 森 毅, 矢澤武史, 前平博充, 伊藤 文, 東田宏明, 龍田 健, 張 弘富, 清水智治, 仲 成幸, 久保田良浩, 梅田朋子, 目片英治, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹

腹腔内温熱化学療法による、進行胃癌の治療成績向上への取り組み

滋賀消化器研究会 第 64 回学術講演・2010 年 1 月・草津

山口智弘, 清水智治, 龍田 健, 伊藤 文, 前平博充, 矢澤武史, 森 毅, 山口 剛, 東田宏明, 張 弘富, 塩見尚礼, 仲 成幸, 久保田良浩, 村田 聡, 山本 寛, 梅田朋子, 目片英治, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹

当院における大腸癌診療の現状 -CT Colonography による術前評価の導入-

滋賀消化器研究会 第 64 回学術講演・2010 年 1 月・草津

藤本剛英, 高橋憲一郎, 望月洋介, 塩谷 淳, 西村貴士, 西田淳史, 小泉祐介, 稲富 理, 仲原 民夫, 馬場重樹, 辻川知之, 藤山佳秀, 安藤 朗, 齋藤康晴, 山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 谷 徹

化学療法が奏功し治癒切除可能となった stage IV 胃癌の 1 例

滋賀消化器研究会 第 64 回学術講演・2010 年 1 月・草津

谷 徹, 来見良誠
体腔鏡手術ロボティック技術の開発研究
都市エリア産学官連携促進事業(発展型) -びわこ南部エリア-成果報告会・2010年2月・大津

来見良誠
消化器外科領域
味の素ファルマ社内講演会・2010年2月・京都

清水智治, 赤堀浩也, 山本 寛, 遠藤善裕
外科手術における血中エンドトキシンの評価
第2回高感度エンドトキシン測定ESPテクニカルセミナー・2010年2月・

Do-Trong Khanh, Mekata Eiji, Mukaisho Kenichi, Shimizu Tomoharu, Tatsuta Takeshi, Endo Yoshihiro, Sukihara Hiroyuki, Tani Tohru
Myeloid Derived Immune Cells positive for CD10 May predict poor outcome cases in stage II Colorectal Cancer
第26回滋賀医科大学シンポジウム・2010年2月・大津

山口智弘, 目片英治, 清水智治, 伊藤 文, 前平博充, 矢澤武史, 森 毅, 山口 剛, 東田宏明, 龍田 健, 塩見尚礼, 仲 成幸, 村田 聡, 山本 寛, 梅田朋子, 阿部 元, 来見良誠, 遠藤善裕, 谷 徹
StageⅢ大腸癌に対する抗癌剤感受性試験(CD-DST)の有効性について
第20回滋賀癌化学療法研究会・2010年2月・草津

塩見尚礼
肝胆膵外科手術周術期における栄養治療の成果と課題
第12回京滋NST研究会・2010年2月・京都

谷 徹
ナビゲーションの活用
第88回医用器材研究者サロン・2010年3月・京都

来見良誠
体腔鏡手術ロボティック技術の開発研究
都市エリア産学官連携促進事業(発展型) びわこ南部エリア 平成21年度研究成果報告会・2010年3月・大津

目片英治, 清水智治, 龍田 健, 山口智弘, 塩見尚礼, 仲 成幸, 村田 聡, 山本 寛, 来見良誠, 遠藤善裕, 谷 徹
進行再発大腸がんに対する抗癌剤感受性試験(CD-DST法)の有効性について
第43回性癌剤適応研究会・2010年3月・仙台

山口智弘, 清水智治, 目片英治, 龍田 健, 塩見尚礼, 仲 成幸, 村田 聡, 山本 寛, 来見良誠, 遠藤善裕, 谷 徹
stageⅢ大腸癌に対する抗癌剤感受性試験(CD-DST法)に基づく補助化学療法の有効性について
第43回性癌剤適応研究会・2010年3月・仙台

米田真紀子, 加藤博文, 多賀 崇, 竹内義博, 太田 茂, 杉本 徹, 久保田良浩
皮下腫瘍にて発見された進行性後腹膜原発巨大神経芽腫の乳児例について
第32回近畿小児がん研究会・2010年3月・京都

塩見尚礼
肝臓切除術周術期の栄養管理
大塚製薬株式会社社内講演会・2010年3月・大津

【対外活動】
<記事>
谷 徹
滋賀医科大学の挑戦
21世紀の科学技術イノベーション 日本の進むべき道・129~143・丸善プラネット株式会社・2009

産学官連携拠点「関西バイオ」を選定 文科・経産省「しが医工連携ものづくりなども」
日本経済新聞(2009年6月13日(土))・2009

阿部 元
乳がんの最新治療～最適な治療法を選択する乳がんの診断法～
滋賀医大病院ニュース TOPICS・第22号・2009

目片英治
CD-DST 法による抗がん剤感受性試験
SHIGA IDAI NEWS・3:10～11・2010

来見良誠
MR ガイド下ナビゲーションサージャリーによる肝臓がんの治療
SHIGA IDAI NEWS・3:12～13・2010

村田 聡
術中腹腔内温熱化学療法による進行胃がんの治療
SHIGA IDAI NEWS・3:14～15・2010

<TV 放送>

来見良誠
医療を新たな成長分野に（滋賀医科大学 来見良誠・山科精器・立命館大学 小西聡）
NHK 放送 「おうみ発 670（2009年7月16日）」・2009

<主催学会・研究会>

滋賀医科大学 消化器外科・乳腺一般外科 第7回病診連携フォーラム
2009年・瀬田アーバンホテル

心臓血管外科

【論文】

<英文学術論文>

Mitsuaki Ishida, Machiko Hotta, Ryoji Kushima, Tohru Asai, Hidetoshi Okabe
IgG4-related inflammatory aneurysm of the aortic arch
Pathology International 59(4):269-273, 2009

Takeshi Kinoshita, Tohru Asai, Yoshitaka Murakami, Noriyuki Takashima, Soh Hosoba, Osamu Nishimura, Norihiko Hiramatsu, Tomoaki Suzuki, Atsushi Kambara, Keiji Matsubayashi
Impact of Previous PCI on Hospital Mortality After Off-Pump Coronary Artery Bypass Grafting in Diabetic Patients With Multivessel Disease
Innovations 4(6):334-339, 2009

<和文学術論文>

木下 武, 浅井 徹
虚血性心疾患
最新医学, 65(2):59-67, 2010

【学会発表】

<国際学会>

T. Kinoshita, T. Asai
PROGNOSTIC IMPACT OF CHRONIC KIDNEY DISEASE ON LONG TERM SURVIVAL AFTER ISOLATED OFF PUMP CORONARY ARTERY BYPASS GRAFTING
The 58th International Congress of the European Society for Cardiovascular Surgery, May 2009, Warsaw, Poland

Tohru Asai

A New Approach for Postinfarction VSD Repair without Left Ventricular Incision
2009 Annual Meeting of the International Society for Minimally Invasive Cardiothoracic Surgery, June 2009, San Francisco

Takeshi Kinoshita, S. Hosoba, N. Takashima, A. Funjino, O. Nishimura, N. Hiramatsu, A. Kambara, K. Matsubayashi, Tohru Asai

Prognostic Value of Preoperative QT Interval for Prediction of Long Term Mortality after Isolated Off Pump Coronary Artery Bypass Grafting
10th Annual Scientific Meeting of the International Society for Minimally Invasive Cardiothoracic Surgery, June 2009, San Francisco

<全国学会 シンポジウム>

浅井 徹

CABG is the Best Intervention for Diabetic and Severe CAD Even in the DES Era!
第 52 回日本糖尿病学会年次学術大会, 2009 年 5 月, 大阪

浅井 徹

当院における過去 7 年の緊急 CABG の現状と課題

浅井 徹, 第 14 回日本冠動脈外科学会学術大会, 2009 年 7 月, 熊本

浅井 徹

なぜまだ問うのか? PCI vs CABG、適応、ガイドラインの決定責任は誰に?

第 57 回日本心臓病学会学術集会, 2009 年 9 月, 札幌

鈴木友彰, 浅井 徹, 松林景二, 神原篤志, 木下 武, 平松範彦, 高島範之, 細羽創宇

左主幹部病変は OPCAB の成績にどのような影響を与えるか

第 23 回日本冠疾患学会学術集会, 2009 年 12 月, 大阪

<全国学会 ディベートセッション>

浅井 徹

高齢者の CABG : All Arterial Graft の立場

第 40 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2010 年 2 月, 神戸

<全国学会 パネルディスカッション>

松林景二, 細羽創宇, 高島範之, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 鈴木友彰, 神原篤志, 浅井 徹

心室中隔穿孔の外科治療 ~右室切開によるダブルパッチ閉鎖法~

第 23 回日本冠疾患学会学術集会, 2009 年 12 月, 大阪

<全国学会 ビデオ・デモンストレーター>

浅井 徹

第 57 回日本心臓病学会学術集会, 2009 年 9 月, 札幌

<全国学会 一般発表>

松林景二, 神原篤志, 木下 武, 平松範彦, 西村 修, 細羽創宇, 浅井 徹

僧帽弁手術の現状 - 僧帽弁形成の限界 -

第 39 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2009 年 4 月, 富山

木下 武, 細羽創宇, 西村 修, 平松範彦, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹

透析患者に対する両側内胸動脈バイパスは手術リスクを高めるか?

第 39 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2009 年 4 月, 富山

浅井 徹

内胸動脈採取における超音波 skeletonization での私たちの工夫とこだわり - Cool Touch and Focal Coagulation

第 14 回日本冠動脈外科学会学術大会, 2009 年 7 月, 熊本

木下 武, 細羽創宇, 高島範之, 西村 修, 平松範彦, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹

慢性腎臓病がオフポンプ冠動脈バイパス術後の長期予後に与える影響について

第 14 回日本冠動脈外科学会学術大会, 2009 年 7 月, 熊本

松林景二, 細羽創宇, 藤野 晋, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 神原篤志, 浅井 徹

左室切開を行わない心室中隔穿孔ダブルパッチ閉鎖術

第 14 回日本冠動脈外科学会学術大会, 2009 年 7 月, 熊本

松林景二, 平松範彦, 細羽創宇, 藤野 晋, 西村 修, 木下 武, 神原篤志, 浅井 徹

タココンプー自己心膜パッチ被覆による左心室自由壁破裂修復法

第 14 回日本冠動脈外科学会学術大会, 2009 年 7 月, 熊本

木下 武, 細羽創宇, 高島範之, 西村 修, 平松範彦, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹

血液透析患者に対する冠動脈バイパス術において、内シャント側の内胸動脈を使用した際の、術後透析時のグラフト血流低下について
第 62 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2009 年 10 月, 横浜

松林景二, 高島範之, 細羽創宇, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 神原篤志, 浅井 徹
高齢者における冠動脈バイパス手術
第 62 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2009 年 10 月, 横浜

細羽創宇, 鈴木友彰, 高島範之, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
OPCAB は虚血性 MR を改善しうるか
第 23 回日本冠疾患学会学術集会, 2009 年 12 月, 大阪

高島範之, 松林景二, 細羽創宇, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 鈴木友彰, 神原篤志, 浅井 徹
術後著明な肝腎機能障害を来した腹部大動脈瘤破裂の 2 症例
第 24 回心臓血管外科ウィンターセミナー, 2010 年 2 月, 長野県

松林景二, 高島範之, 細羽創宇, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 神原篤志, 鈴木友彰, 手塚則明, 浅井 徹
肺癌・心血管病変合併症例に対する肺切除・心臓血管同時手術の検討
第 24 回心臓血管外科ウィンターセミナー, 2010 年 2 月, 長野県

吉田 均, 竹内 斉, 吉田久美, 浅井 徹
緊急手術用プレコネクト回路の比較
第 24 回心臓血管外科ウィンターセミナー, 2010 年 2 月, 長野県

高島範之, 鈴木友彰, 細羽創宇, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
遠位弓部瘤における ESTECH retractor を使用した視野展開の有用性
第 40 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2010 年 2 月, 神戸

細羽創宇, 鈴木友彰, 高島範之, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
Maze 手術の効果予測因子の検討
第 40 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2010 年 2 月, 神戸

鈴木友彰, 浅井 徹, 松林景二, 神原篤志, 木下 武, 平松範彦, 西村 修, 高島範之, 細羽創宇
左主幹部病変は OPCAB の成績にどのような影響を与えるか
第 40 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2010 年 2 月, 神戸

鈴木友彰, 浅井 徹, 松林景二, 神原篤志, 木下 武, 平松範彦, 西村 修, 高島範之, 細羽創宇
Stanford A 型急性解離手術での上行大動脈送血の危険性、有用性
第 40 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2010 年 2 月, 神戸

< 地方会・研究会 >

浅井 徹
僧帽弁閉鎖不全の最新治療
第 121 回草津栗東医師会循環器研究会, 2009 年 4 月, 草津

浅井 徹
冠血行再建の進歩? バイパスはもういらぬ?
第 78 回臨床心臓研究会 (特別講演), 2009 年 5 月, 札幌

松林景二, 平松範彦, 藤野 晋, 細羽創宇, 西村 修, 木下 武, 神原篤志, 浅井 徹
タココンプー自己心膜パッチ被覆による左心室自由壁破裂修復法
第 52 回関西胸部外科学会学術集会, 2009 年 6 月, 岡山

神原篤志, 西村 修, 木下 武, 平松範彦, 松林景二, 浅井 徹
抗リン脂質抗体症候群における僧帽弁閉鎖不全の 1 手術例
第 52 回関西胸部外科学会学術集会, 2009 年 6 月, 岡山

西村 修, 浅井 徹, 細羽創宇, 平松範彦, 木下 武, 神原篤志, 松林景二
急速な増大傾向を認めた多発性大動脈瘤の一例
第 52 回関西胸部外科学会学術集会, 2009 年 6 月, 岡山

浅井 徹

重症拡張型心筋症に対する左室切除（バチスタ）手術
第 123 回草津栗東医師会循環器研究会, 2009 年 8 月, 草津

高島範之, 細羽創宇, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 鈴木友彰, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
僧帽弁置換術により左室流出路圧較差が消失した閉塞性肥大型心筋症の 1 例
第 67 回滋賀県循環器疾患研究会, 2009 年 9 月, 草津

細羽創宇, 松林景二, 高島範之, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 鈴木友彰, 神原篤志, 浅井 徹
収縮性心膜炎の二手術例
第 67 回滋賀県循環器疾患研究会, 2009 年 9 月, 草津

奥山雄介, 松林景二, 細羽創宇, 高島範之, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 鈴木友彰, 神原篤志, 浅井 徹
先天性二尖弁に合併した感染性心内膜炎の 1 例
第 67 回滋賀県循環器疾患研究会, 2009 年 9 月, 草津

浅井 徹
診断と手術のピットフォール（手技の工夫） 大動脈基部病変
平成 21 年度阪神弁膜症シンポジウム, 2009 年 10 月, 西宮

浅井 徹
僧帽弁閉鎖不全の病態と外科治療
第 47 回青森臨床循環器研究会（特別講演）, 2009 年 10 月, 青森

鈴木友彰, 浅井 徹, 松林景二, 神原篤志, 木下 武, 平松範彦, 西村 修, 高島範之, 細羽創宇
超緊急心大血管外科症例の直接手術室搬送の試み
第 35 回滋賀救急医療研究会, 2009 年 10 月, 大津

西村 修, 鈴木友彰, 細羽創宇, 高島範之, 平松範彦, 木下 武, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
致死的重症緊急例の手術室への direct transfer の試み
第 58 回近畿心臓外科研究会, 2009 年 11 月, 大阪

細羽創宇, 高島範之, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 鈴木友彰, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
拡張型心筋症に対して左室部分切除術（PLV）を行った 2 症例
第 108 回日本循環器学会近畿地方会, 2009 年 12 月, 和歌山

高島範之, 鈴木友彰, 細羽創宇, 西村 修, 平松範彦, 木下 武, 神原篤志, 松林景二, 浅井 徹
大動脈弁輪拡張症に対し自己大動脈弁温存手術を行った知的障害を伴う Marfan 症候群の 1 例
第 108 回日本循環器学会近畿地方会, 2009 年 12 月, 和歌山

浅井 徹
心血管イベントの最新のエビデンス-SYNTAX 試験 2 年目の中間報告から-
第 125 回草津栗東医師会循環器研究会, 2009 年 12 月, 草津

浅井 徹
ここまでできる最新の僧帽弁形成術
第 12 回西神戸臨床研究会（特別講演）, 2010 年 2 月, 神戸

<主催学会・研究会>
会長 浅井 徹
第 24 回日本血管外科学会近畿地方会, 2010 年 3 月, 大津

呼吸器外科

【論文】

<英文学術論文>

Takuya Fujita, Koji Teramoto, Yoshitomo Ozaki, Jun Hanaoka, Noriaki Tezuka, Yasushi Itoh, Tohru Asai, Shozo Fujino, Keiichi Kontani, Kazumasa Ogasawara
Inhibition of transforming growth factor- β -mediated immunosuppression in tumor-draining lymph nodes augments antitumor responses by various immunologic cell types

Cancer Res. 69:5142-5150, 2009

<和文学術論文>

尾崎良智, 寺本晃治, 藤野昇三
無症状で経過した菌球型肺ムコール症の1切除例
日本臨床外科学会雑誌, 70(3), 686-90, 2009

堀田真智子, 石田光明, 松原亜季子, 九嶋亮治, 五十嵐知之, 北村将司, 寺本晃治, 花岡 淳, 手塚則明, 岡部英俊
リンパ節腫大を伴った IgG4 関連肺炎炎症性偽腫瘍の1例
診断病理, 26(2):102-6, 2009

寺本晃治, 藤田琢也, 尾崎良智, 花岡 淳, 澤井聡, 手塚則明, 紺谷桂一
進行再発肺がん・乳がんに対する腫瘍抗原 MUC-1 を標的とした樹状細胞ワクチン療法
日本アフェシス学会雑誌, 28(2):163-6, 2009

【学会発表】

<国際学会>

Koji Teramoto, Tomoyuki Igarashi, Shoji Kitamura, Takuya Fujita, Jun Hanaoka, Noriaki Tezuka, Keiichi Kontani, Shozo Fujino

Inhibition of hypoxia-inducible factor 1 (HIF-1) in the tumor can augment anti-tumor immune responses through the elimination of transforming growth factor-beta (TGF- β)-mediated immunosuppression

Annual meeting 2009, American Association for Cancer Research, April 2009, Denver, CO

Haruhisa Kitano, Joon-Yong Chung, Kris Ylaya, Mikiko Takikita, Junya Fukuoka, Noriaki Tezuka, Stephen M. Hewitt

The Combination of Phospho-AKT, Phospho-mTOR, Phospho-MAPK and EGFR Predicts Survival in Non-Small Cell Lung Cancer

13th World Conference on Lung Cancer, August 2009, San Francisco

<全国学会>

寺本晃治, 五十嵐知之, 北村将司, 藤田琢也, 花岡 淳, 手塚則明, 紺谷桂一, 藤野昇三
Pan MHC class II ペプチドによる樹状細胞ワクチンの増強効果
第109回日本外科学会定期学術集会, 2009年4月, 福岡

藤田琢也, 寺本晃治, 花岡 淳, 手塚則明, 藤田美奈子, 五十嵐知之, 北村将司, 藤野昇三, 紺谷桂一
腫瘍所属リンパ節での TGF- β 機能阻害による樹状細胞ワクチン療法の抗腫瘍効果の増強
第109回日本外科学会定期学術集会, 2009年4月, 福岡

藤田美奈子, 五十嵐知之, 北村将司, 藤田琢也, 寺本晃治, 花岡 淳, 手塚則明, 藤野昇三
肺腺癌における HER1-4 発現とゲフィチニブの治療効果について
第109回日本外科学会定期学術集会, 2009年4月, 福岡

手塚則明, 五十嵐知之, 北村将司, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田美奈子, 藤田琢也, 寺本晃治, 花岡 淳, 藤野昇三
縦隔原発悪性胚細胞性腫瘍 (nonseminomatous) 症例の検討
第26回日本呼吸器外科学会総会, 2009年5月, 北九州

花岡 淳, 五十嵐知之, 北村将司, 北野晴久, 鹿島祥隆, 藤田琢也, 藤田美奈子, 寺本晃治, 手塚則明
当科における原発性肺癌に対する完全鏡視下肺葉切除術症例の検討
第26回日本呼吸器外科学会総会, 2009年5月, 北九州

五十嵐知之, 手塚則明, 花岡 淳, 寺本晃治, 北村将司, 藤田琢也, 藤田美奈子, 鹿島祥隆, 北野晴久
BAC を合併した先天性嚢胞性腺腫様奇形の1切除例
第26回日本呼吸器外科学会総会, 2009年5月, 北九州

寺本晃治, 山田英人, 藤田琢也, 花岡 淳, 手塚則明, 紺谷桂一
HIF-1 阻害による TGF- β 発現抑制を介した抗腫瘍免疫応答の増強
第68回日本癌学会学術総会, 2009年10月, 横浜

藤田琢也, 寺本晃治, 紺谷桂一, 花岡 淳, 手塚則明, 藤野昇三, 小笠原一誠
腫瘍所属リンパ節内での TGF- β の免疫抑制作用を阻害することによる抗腫瘍免疫応答の増強

第 68 回日本癌学会学術総会, 2009 年 10 月, 横浜

山田英人, 寺本晃治, 中野恭幸

Pan MHC class II ペプチドによる樹状細胞ワクチンの抗腫瘍効果

第 68 回日本癌学会学術総会, 2009 年 10 月, 横浜

< 地方会・研究会 >

北野晴久, 瀧北幹子, 手塚則明, 福岡順也, Stephen M. Hewitt

Image analysis を用いた複数の抗体発現の定量化比較による肺癌患者の予後評価

滋賀化学療法研究会, 2010 年 2 月, 草津

滋賀医科大学 臨床看護学講座

【学会発表】

< 地方会・研究会 >

二宮早苗, 岡山久代, 正木紀代子, 遠藤善裕, 森川茂廣

子宮摘出術後の腹圧性尿失禁に対しサポート下着が有効であった 1 症例

第 4 回 Open MRI 研究会・2010 年 3 月・九州

正木紀代子, 岡山久代, 遠藤善裕, 二宮早苗, 森川茂廣

分娩経験を有する女性におけるサポート下着着用前後の膀胱頸部の位置比較—縦型オープン MR による評価—

第 4 回 Open MRI 研究会・2010 年 3 月・九州

滋賀医科大学 救急集中治療医学講座

【論文】

< 和文著書 >

江口 豊

Antithrombin III による凝固—炎症サイクルの遮断作用—

医薬の門・49(2) : 66~69・医薬の門社・2009

江口 豊

エンドトキシン吸着療法とは? いつ始めるか?

救急・集中治療・21(7,8) : 915~919・総合医学社・2009

江口 豊, 中永士師明, 吉岡豊一

人工肝臓と患者管理

これで使える! ライフサポート機器—Q&A でわかるプロのコツ—・21(11,12) : 1638~1642・2009

江口 豊

DIC に見られる多臓器障害—その評価法と問題点

血栓と循環・17(4) : 41~44・2009

< 英文学術論文 >

Satoshi Gando, Daizoh Saitoh, Toshihiko Mayumi, Kazuhide Koseki, Toshiaki Ikeda, Hiroyasu Ishikura, Toshiaki Iba, Masashi Ueyama, Yutaka Eguchi, Yasuhiro Ohtomo, Kohji Okamoto, Shigeki Kushimoto, Shigeatsu Endo, Shuji Shimazaki, Japanese Association for Acute Medicine Disseminated Intravascular Coagulation (JAAM DIC) Study Group

Disseminated intravascular coagulation (DIC) diagnosed based on the Japanese Association for Acute Medicine criteria is a dependent continuum to overt DIC in patients with sepsis
Thrombosis Research・123 : 715~718・2009

Tamaki S, Nakamura Y, Tabara Y, Okamura T, Kanda H, Kita Y, Kadowaki T, Tsujita Y, Turin TC, Horie M, Miki T, Ueshima H
Association between polymorphism of the AGTR1 and cardiovascular events in a Japanese general sample (The Shigaraki Study)
Int J Cardiol・136 (3) : 354~355・2009

Yutaka Eguchi
Plasma Dia-filtraton for Severe Sepsis
Blood Purification・166 : 142~149・2010

<和文学術論文>

丸山征郎, 坂田洋一, 和田英夫, 朝倉英策, 岡嶋研二, 丸藤 哲, 射場敏明, 内場光浩, 内山俊正, 江口 豊, 岡本好司, 小倉真治, 川杉和夫, 久志本成樹, 小池 薫, 古賀 震, 関 義信, 窓岩清治, 真弓俊彦
科学的根拠に基づいた感染症に伴う DIC 治療のエキスパートコンセンサス
日本血栓止血学会誌・20(1) : 77~113・2009

江口 豊
劇症肝不全における Plasma Dia-filtration(PDF)-Plasma Filtration with Dialysis ーの臨床評価
ICU と CCU (別冊)・33 : 64~66・医学図書出版株式会社・2009

江口 豊
特集 : 腹部救急における敗血症の病態と治療戦略-特に血液浄化療法について-DIC 早期診断・治療と急性血液浄化法の有用性
日本腹部救急医学会雑誌・29(5) : 747~751・2009

谷 知実, 澤井俊宏, 濱中佳奈, 堀田真紀子, 宗村純平, 岩井 勝, 野村康之, 竹内義博, 五月女隆男, 江口 豊, 畑中道代, 北野悦子, 北村 肇, 高木信明, 谷澤隆邦
抗 Factor H 抗体による非典型的溶血性尿毒症症候群の 1 例
日本小児腎不全学会雑誌 (別冊)・29 : 108~110・2009

大槻秀樹, 五月女隆男, 松村一弘, 藤野和典, 古川智之, 江口 豊, 山田尚登
救急受診患者における精神科疾患患者数の季節性-滋賀医科大学の場合-
日本救急医学会雑誌・20(9) : 763~771・2009

丸山征郎, 坂田洋一, 遠藤重厚, 江口 豊, 朝倉英策, 窓岩清治
凝固線溶反応と炎症反応のクロストーク-DIC の診断基準・検査・治療を中心にー
医薬の門・49(4) : 2(268)~18(284)・2009

江口 豊
Plasma Dia-filtraton(PDF)-Plasma Filtration with Dialysis-の効果と適応
ICU と CCU・34 (2) : 125~129・2010

江口 豊
遺伝子組換えトロンボモジュリンの使用経験-アンチトロンビン製剤抵抗性 DIC におけるリコモジュリンの有用性
日本外科感染症学会雑誌・7 (2) : 143~148・2010

【学会発表】

<全国学会 教育講演>

江口 豊
敗血症の予後改善のために-DIC 治療の実際-遺伝子組み換えトロンボモジュリンの位置づけー
第 37 回日本集中治療医学会学術集会・平成 22 年 3 月・広島

<全国学会 ランチョンセミナー>

江口 豊
重症敗血症、敗血症性ショックにおける HMGB1 の制御
第 20 回日本急性血液浄化学会学術集会・平成 21 年 10 月・札幌

江口 豊
敗血症の予後改善のために-DIC 治療と急性血液浄化療法
第 37 回日本救急医学会総会・平成 21 年 10 月・盛岡

<全国学会 教育セミナー>

江口 豊

集中治療における急性血液浄化の進歩-劇症肝不全・敗血症性多臓器不全における Plasma Dia-filtration の臨床評価-

第 37 回日本集中治療医学会学術集会・平成 22 年 3 月・広島

<全国学会 シンポジウム>

江口 豊

劇症肝不全における Plasma Dia-filtration の臨床評価(single center analysis)

第 30 回日本アフェレシス学会学術大会・平成 21 年 9 月・札幌

中永士師明, 江口 豊, 五月女隆男, 吉岡豊一, 吉村規子, 來住優輝, 中 敏夫, 古屋智規

敗不全に対する Plasma Dia-Filtration(Plasma Filtration with Dialysis)療法

第 30 回日本アフェレシス学会学術大会・平成 21 年 9 月・札幌

江口 豊, 五月女隆男, 吉岡豊一, 中永士師明, 來住優輝

劇症肝不全における Plasma Dia-filtration の臨床評価(multi-center analysis)

第 30 回日本アフェレシス学会学術大会・平成 21 年 9 月・札幌

久志本成樹, 丸藤 哲, 齋藤大蔵, 小倉裕司, 池田寿昭, 石倉宏恭, 射場敏明, 上山昌史, 江口 豊, 大友康裕, 岡本好司, 小関一英, 真弓俊彦, 織田成人, 丹正勝久, 遠藤重厚, 島崎修次
急性期 DIC 診断基準による感染症および外傷を基礎病態とする DIC 症例は異なる病態である可能性がある

第 37 回日本救急医学会総会・平成 21 年 10 月・盛岡

片山 浩, 今泉 均, 江口 豊, 遠藤重厚, 織田成人, 竹田晋浩, 鶴田良介, 中 敏介, 野口隆之, 福岡敏雄, 森田 潔

日本集中治療医学会 CTG 委員会の活動状況について

第 37 回日本集中治療医学会学術集会・平成 22 年 3 月・広島

古川智之, 西 克治, 加藤文崇, 水村直人, 松山千穂, 早藤清行, 浜本 徹, 藤野和典, 辻田靖之, 松村一弘, 五月女隆男, 江口 豊

滋賀医科大学救急集中治療部における集中治療体制と救急・災害教育

第 8 回日本予防医学リスクマネジメント学会・平成 22 年 3 月・東京都

<全国学会 パネルディスカッション>

中永士師明, 五十嵐季子, 多治見公高, 江口 豊, 五月女隆男, 吉岡豊一, 吉村規子, 來住優輝, 中 敏夫, 古屋智規

急性肝不全に対する Plasma Dia-Filtration(Plasma Filtration with Dialysis)療法の多施設検討

第 37 回日本救急医学会総会・平成 21 年 10 月・盛岡

<全国学会 一般発表>

江口 豊

遺伝子組換え thrombomodulin の難治性敗血症性 DIC に対する有効性の検討

第 32 回日本血栓止血学会学術集会・平成 21 年 6 月・小倉

江口 豊, 水村直人, 加藤文崇, 早藤清行, 古川智之, 藤野和典, 浜本 徹, 辻田靖之, 松村一弘, 五月女隆男

遺伝子組換えトロンボモジュリンのアンチトロンビン製剤治療抵抗性敗血症性 DIC に対する有効性の検討

第 37 回日本救急医学会総会・平成 21 年 10 月・盛岡

古川智之, 西 克治, 加藤文崇, 水村直人, 松山千穂, 早藤清行, 浜本 徹, 藤野和典, 辻田靖之, 松村一弘, 五月女隆男, 江口 豊

病院救急部に合わせさまざまなシナリオを設定した災害机上訓練

第 15 回日本集団災害医学会総会・学術集会・平成 22 年 2 月・東京

山根哲信, 辻田靖之, 浜本 徹, 早藤清行, 松山千穂, 藤野和典, 松村一弘, 五月女隆男, 江口 豊

脳低温療法中、下壁誘導の早期再分極に関連した難治性 VF を疑われ、イソプロテレノールが著功した一例

第 37 回日本集中治療医学会学術集会・平成 22 年 3 月・広島

< 地方会・研究会 >

江口 豊

研修医に必要な輸液管理の知識と実践

第 2 回卒後臨床研修イブニングセミナー（特別講演）・平成 21 年 4 月・滋賀医大

江口 豊

AT 製剤投与抵抗性の敗血症 DIC に対する rTM の臨床経験

第 5 回東海 DIC up to Date（特別講演）・平成 21 年 5 月・名古屋

江口 豊

集中治療管理における急性血液浄化法の未来戦略

第 13 回滋賀急性血液浄化セミナー（特別講演）・平成 21 年 7 月・草津

江口 豊

最新の救急医療について

昂会医療安全研修会（特別講演）・平成 21 年 11 月・蒲生郡

加藤文崇, 辻田靖之, 水村直人, 松山千穂, 古川智之, 早藤清行, 山根哲信, 藤野和典, 浜本 徹, 松村一弘, 五月女隆男, 江口 豊

輸血関連急性肺障害において、血漿交換が有効だった 2 症例

第 54 回日本集中治療医学会近畿地方会・平成 21 年 6 月・和歌山

加藤文崇, 辻田靖之, 水村直人, 松山千穂, 古川智之, 早藤清行, 山根哲信, 藤野和典, 浜本 徹, 松村一弘, 五月女隆男, 江口 豊

感染性心内膜炎の経過中に輸血に伴う重症呼吸不全を合併した 2 症例

第 17 回京滋救命救急セミナー・平成 21 年 7 月・京都

古川智之, 加藤文崇, 水村直人, 松山千穂, 山根哲信, 早藤清行, 藤野和典, 浜本 徹, 辻田靖之, 松村一弘, 五月女隆男, 江口 豊

当院における研修医対象 ICLS (Immediate Cardiac Life Support) コース開催の利点と問題点

第 100 回日本集中治療医学会近畿地方会・平成 21 年 7 月・大阪

松村一弘, 早藤清行, 布施郁子, 古川智之, 浜本 徹, 藤野和典, 辻田靖之, 五月女隆男, 江口 豊

当院における脳低温療法の温度設定による効果の検討

第 99 回日本集中治療医学会近畿地方会・平成 21 年 7 月・大阪

江口 豊

DIC の最近の治療と実際

学術集会・平成 21 年 9 月・草津総合病院

古川智之, 高瀬 泉, 西 克治, 藤野和典, 浜本 徹, 辻田靖之, 松村一弘, 五月女隆男, 江口 豊, 柏木厚典

血液凝固第 13 因子製剤が有効であった胃瘻造設後の創部感染

第 189 回日本内科学会近畿地方会・平成 21 年 9 月・大阪

江口 豊

敗血症におけるニューキノロン系薬の有効性についてーカバ[®] 系との比較

第 2 回抗菌薬適正使用 Up DATE・平成 21 年 11 月・京都

五月女隆男, 早藤清行, 山根哲信, 浜本 徹, 辻田靖之, 江口 豊: 急性血液浄化法におけるメシル酸ナファモスタットの濃度動態について

第 28 回日本アフエレス学会地方会・平成 21 年 12 月・金沢

松山千穂, 松村一弘, 五月女隆男, 辻田靖之, 藤野和典, 浜本 徹, 山根哲信, 加藤文崇, 水村直人, 早藤清行, 江口 豊, 古川智之, 松浪 薫

当院における上位脊椎損傷の検討

第 35 回滋賀救急医療研究会・平成 21 年 10 月・大津

江口 豊

全身性炎症反応症候群に伴う急性肺障害に対する治療検討—NPPV とシベレスタットナトリウムとの併用について—多施設共同研究中間報告
第 18 回京滋救命救急セミナー・平成 21 年 11 月・京都

古川智之, 西 克治, 松山千穂, 早藤清行, 藤野和典, 浜本 徹, 辻田靖之, 松村一弘, 五月女隆男, 江口 豊
病死から交通事故に至った解剖症例
第 190 回近畿地方会・平成 21 年 12 月・神戸

江口 豊
敗血症の予後改善のために「DIC の診断と治療」—遺伝子組換えトロンボモジュリンの位置づけ—
第 10 回大阪 DIC 研究会・平成 22 年 1 月・大阪

江口 豊
救急・集中治療室での輸液管理
(株)大塚製薬工場京都営業所社員勉強会・平成 22 年 3 月・大津

古川智之, 西 克治, 布施貴司, 梶野健太郎, 野村文彦, 渡瀬淳一郎, 岸 正司, 山吉 滋
コードブルーとヴォイスのかけ橋～新たな医療体制の提言～しょうゆ中毒の症例を通して第 101
回近畿救急医学研究会・平成 22 年 3 月・奈良

古川智之, 加藤文崇, 水村直人, 松山千穂, 山根哲信, 早藤清行, 松浪 薫, 浜本 徹, 藤野和典, 辻田靖之, 松村一弘, 五月女隆男, 江口 豊
顔面神経麻痺の視診から治療まで
第 101 回近畿救急医学研究会・平成 22 年 3 月・奈良

關連病院業績

愛知県がんセンター研究所 分子腫瘍学部

【論文】

<英文学術論文>

An B, Kondo Y, Okamoto Y, Shinjyo K, Kanemitsu Y, Komori K, Hirai T, Sawaki A, Tajika M, Nakamura T, Yamao K, Yatabe Y, Fujii M, Murakami H, Osada H, Tani T, Matsuo K, Shen L, Issa JP, Sekido Y

A characteristic methylation profile in CpG island methylator phenotype-negative distal colorectal cancers

Int J Cancer · in press · 2010

【学会発表】

<全国学会 パネルディスカッション>

安 炳九, 近藤 豊, 新城恵子, 伊藤元一, 長田啓隆, 藤井万紀子, 村上秀樹, 平井 孝, 金光幸秀, 小森康司, 山雄健次, 澤 木明, 関戸好孝

大腸がんにおける DNA メチル化の発がん過程への関与とその臨床応用

第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会 · 2009 年 11 月 · 福岡

愛知県がんセンター中央病院 消化器外科

【学会発表】

<全国学会>

中村一郎, 伊藤誠二, 三澤一成, 伊藤友一, 金光幸秀, 小森康司, 清水泰博, 佐野 力, 千田嘉毅, 平井 孝, 山村義孝

高度食道浸潤胃癌症例の検討

第 64 回日本消化器外科学会 · 2009 年 7 月 · 大阪

中村一郎, 伊藤誠二, 三澤一成, 伊藤友一, 金光幸秀, 小森康司, 清水泰博, 佐野 力, 千田嘉毅, 平井 孝

80 歳以上胃癌患者における術前身体状態と術後合併症との関連性

第 47 回癌治療学会学術集会 · 2009 年 10 月 · 横浜

中村一郎, 伊藤誠二, 三澤一成, 伊藤友一, 金光幸秀, 小森康司, 清水泰博, 佐野 力, 千田嘉毅, 平井 孝

非治癒因子をもつ食道浸潤胃癌における原発巣切除の位置付け

第 71 回日本臨床外科学会総会 · 2009 年 11 月 · 京都

中村一郎, 伊藤誠二, 三澤一成, 伊藤友一

減量手術の臨床的意義

第 82 回日本胃癌学会総会 · 2010 年 3 月 · 新潟

赤穂市民病院 呼吸器科

【学会発表】

<全国学会>

塩田哲広, 清川寛文

COPD 患者におけるチオトロピウムの長期効果

第 49 回日本呼吸器学会学術講演会, 2009 年 6 月, 東京

山口将史, 新実彰男, 松本久子, 伊藤功朗, 大塚浩二郎, 小熊毅, 竹田知史, 中治仁志, 井上英樹, 三嶋理晃

低用量・高用量吸入ステロイド薬 (ICS) とロイコトリエン受容体拮抗薬 (LTRA) による咳喘息の短期治療効果

第 59 回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2009 年 10 月, 秋田

<地方会・研究会>

山口将史, 塩田哲広

胸痛と血痰で発症した M. avium 症の一切除例

第 73 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2009 年 7 月, 奈良

塩田哲広, 山口将史

抗 IgE 抗体投与により症状の改善を認めた重症喘息の 2 例

第 73 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2009 年 7 月, 奈良

山口将史, 塩田哲広, 大林千穂

診断に難渋したウェゲナー肉芽腫の一例

第 73 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2009 年 7 月, 奈良

清川寛文, 塩田哲広, 山口将史

咳嗽を主訴に来院した肺血栓塞栓症の一例

第 73 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2009 年 7 月, 奈良

塩田哲広, 山口将史

当院における抗 IgE 抗体の使用経験

第 18 回西日本臨床喘息研究会, 2009 年 8 月, 神戸

塩田哲広

抗 IgE 抗体で気管支喘息治療はどうかわるか?

第 26 回赤穂呼吸器疾患研究会, 2009 年 9 月, 赤穂

山口将史, 新実彰男, 松本久子, 伊藤功朗, 大塚浩二郎, 小熊毅, 竹田知史, 中治仁志, 井上英樹, 田尻智子, 岩田敏之, 三嶋理晃

低用量・高用量吸入ステロイド薬 (ICS) とロイコトリエン受容体拮抗薬 (LTRA) による咳喘息の短期治療効果

日本咳嗽研究会, 2009 年 11 月, 名古屋

山口将史, 塩田哲広

気管癌に対するレーザー治療中にラリングアルマスクのカフに引火した 1 例

第 86 回呼吸器内視鏡学会近畿支部会, 2009 年 12 月, 大阪

塩田哲広, 山口将史

導入化学療法が奏功し完全切除が可能であった巨大な胸腺腫の一切除例

第 74 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2009 年 12 月, 大阪

浜口哲矢, 山口将史, 塩田哲広

左上肢の浮腫にて発症した胸壁リンパ管腫の一切除例

第 74 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2009 年 12 月, 大阪

山口将史, 塩田哲広

COPD 患者における 6 分間歩行距離と握力

第 74 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2009 年 12 月, 大阪

山口将史, 塩田哲広

気胸を契機に診断された Erdheim-Chester 病の 1 例

第 74 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2009 年 12 月, 大阪

山口将史, 塩田哲広, 山本芳央

肺動脈血栓症との鑑別が困難であった肺動脈内膜肉腫の 1 切除例

第 42 回兵庫呼吸器外科研究会, 2010 年 3 月, 神戸

塩田哲広

気管支喘息患者にシムビコートはどう使う?

第 27 回赤穂呼吸器疾患研究会, 2010 年 3 月, 赤穂

【対外活動】

<講演>

塩田哲広

遺伝子突然変異の検出法

中外製薬 社内勉強会, 2009 年 4 月, 姫路

塩田哲広
肺癌骨転移の治療に関して
ノバルティスファーマ株式会社 社内勉強会, 2009 年 4 月, 姫路

塩田哲広
朝三暮四
赤相薬剤師会学術講演会（特別講演）, 2009 年 7 月, 赤穂

山口将史, 塩田哲広
肺血栓症の 2 例
京都大学呼吸器外科 同門会 夏季研究会, 2009 年 7 月, 出雲

山口将史, 塩田哲広
レーザー焼灼中ラリゲアルマスクのカフに引火し、気道チューブから火柱がたった一例
NPO 法人西日本呼吸器内科医療推進機構 平成 21 年度夏季学術集会, 2009 年 7 月, 倉敷

塩田哲広
インフルエンザの基礎知識
BASF コーティングスジャパン健康講座, 2009 年 8 月, 赤穂

塩田哲広
気管支喘息治療は Simple にこう変わる
岩国市医師会講演会（特別講演）, 2009 年 9 月, 岩国

塩田哲広
病態からみた気管支喘息, COPD の治療
第 3 回『鳥取県中部吸入療法研究会』講演会（特別講演）, 2009 年 9 月, 倉吉

塩田哲広
重症気管支喘息患者の治療
ノバルティスファーマ株式会社 社内勉強会, 2009 年 9 月, 姫路

山口将史, 塩田哲広
気胸を契機に発見された間質性肺炎の 1 例
第 16 回姫路胸部画像カンファレンス, 2009 年 9 月, 姫路

塩田哲広
インフルエンザ感染症
市民健康大学講座, 2009 年 9 月, 赤穂

塩田哲広, 山口将史, 山本芳夫
導入化学療法が奏功し完全切除が可能であった胸腺腫の 1 例
第 35 回千種川カンファレンス, 2009 年 9 月, 赤穂

塩田哲広
進化する COPD 治療
赤穂市呼吸器疾患講演会（特別講演）, 2009 年 10 月, 赤穂

塩田哲広
新型インフルエンザ対策における、リスク管理とコミュニケーション
Hot Semin@r 2009 秋（基調講演）, 2009 年 10 月, 大阪

塩田哲広
呼吸器感染症におけるニューキノロン系薬の位置付け
時習会 特別講演, 2009 年 10 月, 赤穂

塩田哲広
気管支喘息・COPD 治療の変革
第 9 回呼吸器疾患フォーラム（特別講演）, 2009 年 10 月, 伊丹

塩田哲広

呼吸器感染症におけるマクロライド系抗生物質の意義
時習会 講演会（特別講演）, 2009年11月, 赤穂

塩田哲広
急増する肺血栓塞栓症
集中治療室血栓予防キャンペーン, 2009年11月, 赤穂

塩田哲広, 山口将史
導入化学療法が奏功し完全切除が可能であった胸腺腫の1例
第104回兵庫県肺癌懇話会, 2009年11月, 神戸

塩田哲広
喘息・COPDにおけるSFCの最新の知見
GSK社内研修会, 2009年11月, 東京

塩田哲広
肺癌治療の実際
鳥居薬品株式会社社外講師研修会, 2009年12月, 姫路

塩田哲広
抗IgE抗体は重症気管支喘息患者の救世主になりうるか?!
喘息エキスパートミーティング（特別講演）, 2009年12月, 大阪

塩田哲広
これからの気管支喘息治療
シェリング・プラウ気管支喘息社内勉強会, 2009年12月, 姫路

山口将史, 塩田哲広
無症状で陰影が急速に増大した79歳の女性
第17回姫路胸部画像カンファレンス, 2010年3月, 姫路

塩田哲広
強いものでも、知的なものでもない。最も変化に適応できるもののみが生き残る。
呼吸器感染症セミナー（特別講演）, 2010年3月, 相生

楊 培世, 塩田哲広, 山口将史
急速に進行して死亡したPET陰性粘液産生性BACの一例
第105回兵庫県肺癌懇話会, 2010年3月, 神戸

医仁会武田総合病院 呼吸器外科

【学会発表】

<全国学会>

鈴木雄治, 一瀬増太郎, 寺本晃治
胸壁再建術を伴う乳癌術後に発症した胸壁膿瘍に対する一治療経験
第26回日本呼吸器外科学会総会, 2009年5月, 北九州

鈴木雄治, 橋本雅之
良性気管腫瘍に対しレーザー焼灼術を施行した一例
第32回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2009年5月, 東京

鈴木雄治, 橋本雅之
左主気管支発生粘表皮癌に対し左主気管支管状切除術を施行した1例
第50回日本肺癌学会総会, 2009年11月, 東京

大阪赤十字病院 呼吸器外科

【学会発表】

<全国学会>

渡辺裕介, 中出雅治, 田中宏和, 川邊正和, 山崎順久
肺癌術後の縦隔リンパ節転移に対する手術例の検討
第26回日本呼吸器外科学会総会, 2009年5月, 北九州

田中宏和, 中出雅治, 渡辺裕介, 川邊正和, 山崎順久
肺癌術後膿胸に対して有径大網移植を行った2例
第26回日本呼吸器外科学会総会, 2009年5月, 北九州

田中宏和, 中出雅治, 渡辺裕介, 川邊正和, 山崎順久
頸胸部脂肪腫の一切除例
第26回日本呼吸器外科学会総会, 2009年5月, 北九州

川邊正和, 中出雅治, 渡辺裕介, 田中宏和, 山崎順久
多発結節性肺アミロイドーシスの1例
第26回日本呼吸器外科学会総会, 2009年5月, 北九州

山崎順久, 中出雅治, 渡辺裕介, 田中宏和, 川邊正和
びまん性肺転移を示した子宮筋腫の1例
第26回日本呼吸器外科学会総会, 2009年5月, 北九州

田中宏和, 中出雅治, 渡辺裕介, 川邊正和, 山崎順久
ガンマナイフ後に嚢胞状変化を認めた肺癌術後脳転移の2例
第50回日本肺癌学会総会, 2009年11月, 東京

海上自衛隊第1術科学校

【学会発表】

<全国学会>

小川智道, 大草 康, 西 雅文, 清水彰一郎, 杉浦崇夫, 三木田馨, 吉村 昇, 小原一葉, 松崎
宏治, 谷本高男, 伊古美正隆, 西山純一郎, 尾関裕一
血胸を契機に診断された左大腿骨骨肉腫右胸壁転移の1例
第71回日本臨床外科学会総会・2009年11月・京都

香川大学医学部 呼吸器・乳腺内分泌外科

【論文】

<英文論文>

Kontani K., Murazawa C., Norimura S., Yamashita K., Fujiwara-Honjo N., Ohtani M., Date M.,
Kushida Y., Muneuchi G., Haba R., Yokomise H., Yamauchi A.
Indication for skin-sparing mastectomy with or without nipple preservation for primary
breast cancer
Int. Surg., 95:12-20, 2010

Imachi H, Murao K, Kontani K, Yokomise H, Miyai Y, Yamamoto Y, Kushida Y, Haba R, Ishida
T.
Ectopic mediastinal parathyroid adenoma: a cause of acute pancreatitis
Endocrine. 36(2):194-7, 2009

<和文論文>

黒田紀行, 紺谷桂一, 田港朝彦
CLIAによる血清中HER2/neu蛋白質の測定法
検査と技術, 37:446-450, 2009

【学会発表】

<国際学会>

Keiichi Kontani, Shin-ichiro Hashimoto, Chisa Murazawa, Shoko Norimura, Naomi Fujiwara-Honjo, Masahiro Ohtani, Yutaka Ogasawara, Manabu Date, Hiroyasu Yokomise, Akira Yamauchi

Clinical use of serum HER2/neu level as a tumor marker in breast cancer
7th biennial meeting of the Asian Breast Cancer Society, October 2009, Seoul

Keiichi Kontani, Shin-ichiro Hashimoto, Chisa Murazawa, Shoko Norimura, Hiroyasu Yokomise, Akira Yamauchi

Availability of the extracellular domain of HER2/neu oncoprotein in a clinical use in breast cancer

Joint Neurosurgical Convention 2010, January 2010, Honolulu

<全国学会>

紺谷桂一, 村澤千沙, 法村尚子, 横見瀬裕保, 山内清明
乳癌における可溶性 HER2 分子の腫瘍マーカーとしての臨床応用
第 109 回日本外科学会定期学術集会, 2009 年 4 月, 福岡

山内清明, 紺谷桂一, 法村尚子, 村澤千沙, 中北慎一, 平林淳
簡便な糖鎖解析法を用いた新規乳癌腫瘍マーカーの開発
第 109 回日本外科学会定期学術集会, 2009 年 4 月, 福岡

紺谷桂一, 村澤千沙, 法村尚子, 山下加奈子, 本城尚美, 大谷昌裕, 伊達学, 横見瀬裕保, 山内清明
乳癌に対するカペシタビンの適応: 当科使用経験からの検討
第 17 回日本乳癌学会学術総会, 2009 年 7 月, 東京

法村尚子, 紺谷桂一, 本城尚美, 村澤千沙, 山下加奈子, 香川福宏, 大谷昌裕, 伊達学, 横見瀬裕保, 山内清明

両側乳癌両側ダイナミック MRI が有用であった 5 例の報告
第 17 回日本乳癌学会学術総会, 2009 年 7 月, 東京

村澤千沙, 紺谷桂一, 法村尚子, 山下加奈子, 大谷昌裕, 本城尚美, 伊達学, 横見瀬裕保, 山内清明
乳房部分切除後欠損部に対する遊離真皮脂肪片移植の試み
第 17 回日本乳癌学会学術総会, 2009 年 7 月, 東京

山内清明, 紺谷桂一, 法村尚子, 村澤千沙, 横見瀬裕保
新規タモキシフェン効果予測因子としてのメニンの検討
第 17 回日本乳癌学会学術総会, 2009 年 7 月, 東京

紺谷桂一, 橋本新一郎, 村澤千沙, 法村尚子, 横見瀬裕保, 山内清明
乳癌に対する血清 HER2 細胞外ドメインの臨床的意義に関する検討
第 22 回日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2009 年 11 月, 東京

<地方会・研究会>

法村尚子, 紺谷桂一, 本城尚美, 橋本新一郎, 村澤千沙, 山下加奈子, 香川福宏, 大谷昌裕, 伊達学, 宮井由美, 林俊哲, 串田吉夫, 羽場礼次, 横見瀬裕保, 山内清明,
術前乳腺 MRI により術式が変更され MRI 画像と病理結果が一致した 5 例の報告
第 6 回日本乳癌学会中国四国地方会, 2009 年 9 月, 岡山

橋本新一郎, 村澤千沙, 法村尚子, 本城尚美, 山下加奈子, 大谷昌裕, 伊達学, 紺谷桂一, 横見瀬裕保, 山内清明

腋窩リンパ節腫大で発見された進行潜在性乳癌 2 例の経験
第 6 回日本乳癌学会中国四国地方会, 2009 年 9 月, 岡山

村澤千沙, 紺谷桂一, 法村尚子, 橋本新一郎, 大谷昌裕, 本城尚美, 伊達学, 横見瀬裕保, 山内清明
乳房温存術後切除断端陽性の症例検討
第 6 回日本乳癌学会中国四国地方会, 2009 年 9 月, 岡山

法村尚子, 紺谷桂一, 橋本新一郎, 村澤千沙, 横見瀬裕保
呼吸および嚥下障害を来した巨大甲状腺腫の手術経験
第 38 回中国四国甲状腺外科研究会, 2010 年 3 月, 徳島

【対外活動】

<講演>

紺谷桂一

乳癌の最新薬物療法

第6回香川がん化学療法看護研究会（特別講演），2009年，高松

京都第一赤十字病院

【学会発表】

<全国学会>

糸井尚子，越野勝博，門谷弥生，園田寛道，池田 純，山下哲郎，小出一真，上島康生，岩田讓司，谷口史洋，塩飽保博，李 哲柱

ホルモン反応性およびトラツズマブ反応性の有無による乳癌肝転移の予後解析

第109回日本外科学会定期学術集会・2009年4月・福岡

糸井尚子

乳腺超音波検査で診断可能であった7mm以下の乳癌の報告

日本乳腺甲状腺超音波診断会議・2009年4月・東京

糸井尚子

乳房部分切除術における術中病理診断の意義

日本乳癌学会・2009年7月・東京

園田寛道，濱田隼一，池田 純，山下哲郎，小出一真，谷口史洋，高階謙一郎，塩飽保博，李 哲柱

S-1の経腸瘻投与により長期間の外來S-1/低用量CDDP療法を施行し得た根治切除不能胃癌の1例

第64回日本消化器外科学会総会・2009年7月・大阪

園田寛道，樋口恒司

出血を繰り返すストマ静脈瘤に対してTIPSが奏効した1例

第64回日本大腸肛門病学会総会・2009年11月・福岡

園田寛道，上島康生，岩田讓司，塩飽保博

経過中に増大傾向を示し大腸癌肺転移と鑑別困難であった肺軟骨腫の1例

第64回日本大腸肛門病学会学術集会・2009年11月・福岡

東口貴之，園田寛道，小川博喜，清水浩紀，中野智継，中村洋平，濱田隼一，池田 純，糸川嘉樹，小出一真，上島康生，谷口史洋，高階謙一郎，塩飽保博，李 哲柱

腹壁デスマイド2例

第71回日本臨床外科学会総会・2009年11月・京都

園田寛道，小林博喜，池田 純，糸川嘉樹，小出一真，谷口史洋，上島康生，塩飽保博，坂井 修，大野聖子

原因不明の敗血症で発症した腹部大動脈瘤術後人工血管-腸管瘻の1例

第22回日本外科感染症学会定期学術集会・2009年12月・宇部

<地方会・研究会>

糸井尚子

乳癌肺転移に対しfirst lineとしてVinorelbineを投与し奏功した症例

乳癌症例懇話会・2009年7月・京都

糸井尚子，李 哲柱，林奈穂子，門谷弥生

転移性乳癌の予後～ホルモン感受性・Trastuzumab感受性による予後解析～

第58回京滋乳癌研究会・2009年9月・京都

園田寛道，池田 純，糸川嘉樹，小出一真，谷口史洋，塩飽保博

術前化学放射線療法により喉頭摘出術を回避し得た頸部食道癌の1例

第66回伏見医師学術集談会・2009年11月・京都

京都第二赤十字病院

【学会発表】

<地方会・研究会>

柿原直樹，谷口弘毅，竹中 温

鼠径部 liposarcoma の1 症例

関西ヘルニア研究会・2009 年 10 月・大阪

【対外活動】

<講演（市民公開講座）>

柿原直樹

化学療法とは

2009 年 4 月・京都

柿原直樹

がん患者と医療スタッフで共に「がん」を考えよう

第 5 回「大腸がん」・2009 年 4 月・京都

草津総合病院

【論文】

<和文学術論文>

米村 豊，新保雅也，萩原明於，島田信也，中島 豪，池田 聡，岡村寛子，平野正満，水本明

良，水野光邦

胃癌のすべて P0・Cy1 胃癌に対する治療

消化器外科・31：802～812・2008

平野正満，水本明良，高尾信行，松田高幸，一瀬真澄，櫛渕統一，水野光邦

標準的内視鏡外科手術 腹腔鏡下虫垂切除術

外科治療・100：166～176・2009

【学会発表】

<全国学会>

水本明良，松田高幸，一瀬真澄，高尾信行，平野正満，櫛渕統一，水野光邦，米村 豊

当院における腹膜偽粘液腫手術症例の検討

第 109 回日本外科学会・2009 年 4 月・福岡

松田高幸，平野正満，一瀬真澄，高尾信行，水本明良，櫛渕統一，水野光邦

腸管切除を回避できた大網裂孔ヘルニアによる絞扼性イレウスの一例

第 37 回日本救急医学会・2009 年 10 月・岩手

平野正満，一瀬真澄，松田高幸，高尾信行，水本明良，水野光邦

腹腔鏡で診断し、腹腔鏡下温熱化学療法を施行した虫垂腫瘍の 2 例

第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・京都

水本明良，松田高幸，一瀬真澄，高尾信行，平野正満，櫛渕統一，水野光邦，米村 豊

腹膜偽粘液腫手術症例の完全切除率に及ぼす要因

第 64 回日本大腸肛門病学会総会・2009 年 11 月・福岡

平野正満，原 文祐，松田高幸，一瀬真澄，高尾信行，戸川 剛，水本明良，水野光邦，藤村昌

樹，米村 豊

腹膜播種病変に対する腹腔鏡下温熱化学療法の手技と問題点について

第 22 回日本内視鏡外科学会総会・2009 年 12 月・東京

松田高幸，平野正満，一瀬真澄，高尾信行，水本明良，櫛渕統一，水野光邦

腹腔鏡下胆嚢摘出術における胆管走行異常の一例 一術中胆道造影の重要性一

第 22 回日本内視鏡外科学会総会・2009 年 12 月・東京

松田高幸, 平野正満, 一瀬真澄, 高尾信行, 水本明良, 榎渕統一, 水野光邦
盲腸切迫破裂を呈した穿孔性虫垂炎の一例
第46回日本腹部救急医学会・2010年3月・富山

<地方会・研究会>

松田高幸, 平野正満, 一瀬真澄, 高尾信行, 水本明良, 榎渕統一, 水野光邦
横隔膜ヘルニアによる胃嵌頓の一例
第185回近畿外科学会・2009年6月・神戸

平野正満, 水本明良, 高尾信行, 松田高幸, 戸川 剛, 一瀬真澄, 水野光邦, 米村 豊
胃がん腹膜播種に対する腹腔鏡下診断および温熱化学療法の実験
第1回播種性転移研究会・2009年10月・草津

水本明良, 松田高幸, 一瀬真澄, 高尾信行, 舛田誠二, 平野正満, 榎渕統一, 水野光邦, 米村 豊
当院における手術症例の検討
第1回播種性転移研究会・2009年10月・草津

太田紗千子, 一瀬真澄, 松田高幸, 高尾信行, 水本明良, 平野正満
CTにて門脈ガスを認めた1例
第11回びわこ臨床研修ネットワーク 学術講演会・2010年2月・大津

平野正満

はたして胃内留置チューブ(いわゆるマーゲンチューブ)は安全か? チューブによる胃穿孔の2例
草津総合病院 MMカンファレンス・2010年3月・草津

神戸徳洲会病院 心臓血管外科

【論文】

<和文論文>

野島武久, 曾根田純一
人工血管内シャント閉塞症例に対する治療方針の変遷
腎と透析 69 別冊, 2010 69:144-146

<その他>

野島武久
透析患者さんのVA関連手術 最適で効率の良い治療を実現
徳洲新聞 2009 689:3

【学会発表】

<地方会・研究会>

野島武久
当科でのアクセス関連治療
第1回関西VAIVTカンファレンス(Kick off meeting), 2009年6月, 大阪

野島武久, 曾根田純一
人工血管内シャント閉塞症例に対する治療方針の変遷
第13回日本アクセス研究会学術集会・総会, 2009年9月, 福岡

野島武久
治療に難渋しているVAIVT症例
第2回関西VAIVTカンファレンス, 2009年12月, 大阪

酢谷保夫, 伊藤靖, 藤田俊哉, 水田博之, 江原重幸, 百々まゆみ, 満谷進, 吉崎和幸, 野島武久, 曾根田純一
心筋梗塞発症約2ヶ月後の慢性期に心嚢内出血を認めた左室瘤の1例
第190回日本内科学会近畿地方会, 2009年12月, 神戸

くろづ外科医院

【対外活動】

<講演（市民公開講座）>

遠藤 郁

「一人で悩まないでください」在宅介護の方々とのふれあいを通じて

平成21年度「大津市団塊世代まちづくりパワー創造事業」・2009年12月・大津

国立病院機構 大阪医療センター

【学会発表】

<全国学会 ワークショップ>

水谷麻紀子, 増田慎三, 山村 順, 児玉良典, 小川昌美, 真能正幸, 苅田真子, 中森正三, 辻仲利政

術前薬物療法からみたHER2陽性・ホルモン受容体陽性乳癌の特徴

第18回乳癌学会学術総会・2010年6月・札幌

<全国学会 一般発表>

水谷麻紀子, 増田慎三, 山村 順, 小川昌美, 苅田真子, 岡本奈津子, 中森正三, 辻仲利政

AI剤中止により病状の安定を得た内分泌療法多剤耐性乳癌の一例

第7回日本乳癌学会近畿地方会・2009年・12月・神戸

国立病院機構 滋賀病院 外科

【学会発表】

<地方会・研究会>

村上耕一郎, 川口 晃, 長谷川正人, 大内政嗣, 藤田琢也, 尾崎良智, 井上修平

吐血で発見され切除しえた肺癌胃転移の一例

琵琶湖消化器外科懇話会・2009年12月・草津

国立病院機構 滋賀病院 呼吸器外科

【論文】

<和文学術論文>

花岡 淳, 井上修平, 大内政嗣, 五十嵐知之, 手塚則明, 北村将司

当科で経験した胸囲結核の2手術例

日本呼吸器外科学会雑誌, 23:606-612, 2009

【学会発表】

<全国学会>

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 高萩亮宏

間質性肺炎(IP)を合併する肺悪性腫瘍手術症例に対するシベレスタットナトリウム投与例の検討

第109回日本外科学会定期学術集会, 2009年4月, 福岡

井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣, 高萩亮宏

胸腔鏡補助下小開胸アプローチで摘出した低位後縦隔神経節細胞腫の1例

第26回日本呼吸器外科学会総会, 2009年5月, 北九州

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 高萩亮宏

成人で発見された先天性嚢胞性腺腫様奇形(CGAM)の2切除例

第26回日本呼吸器外科学会総会, 2009年5月, 北九州

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 高萩亮宏
肺コクシジオイデス症の1切除例
第26回日本呼吸器外科学会総会, 2009年5月, 北九州

高萩亮宏, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣
肺容量減量手術を契機に発見された肺葉外肺分画症の1例
第26回日本呼吸器外科学会総会, 2009年5月, 北九州

高萩亮宏, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣
当科における局所麻酔下胸腔鏡検査の経験
第32回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2009年5月, 東京

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 高萩亮宏
気管支動脈塞栓術後に喀血を反復し手術療法を行った肺放線菌症の1例
第32回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2009年5月, 東京

井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也, 大内政嗣
当科における局所麻酔下胸腔鏡検査症例の検討
第63回国立病院総合医学会, 2009年10月, 仙台

池田俊彦, 黒川 聡, 小林茂昭, 長谷川正人, 藤田琢也, 大内政嗣, 尾崎良智, 井上修平, 向所賢一, 九嶋亮治
当院で経験した慢性肺コクシジオイデス症の1例
第63回国立病院総合医学会, 2009年10月, 仙台

永井聡子, 堀内保直, 荒木麻里子, 川口ともね, 大内政嗣, 藤田琢也, 尾崎良智, 井上修平
EGFR-TKIによる皮膚障害と皮膚障害に対する薬剤の適正使用
第19回日本医療薬学会年会, 2009年10月, 長崎

尾崎良智, 井上修平, 藤田琢也, 大内政嗣
当院における原発性肺癌 EGFR 遺伝子変異症例の検討
第50回日本肺癌学会総会, 2009年11月, 東京

藤田琢也, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣
肺クリプトコッカス症の6例の検討
第50回日本肺癌学会総会, 2009年11月, 東京

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也
自然縮小を認めた胸腺腫の1切除例
第50回日本肺癌学会総会, 2009年11月, 東京

<地方会・研究会>

藤田琢也, 大内政嗣, 尾崎良智, 井上修平
右大量胸水の1例
第36回 Shiga Chest Disease Conference, 2009年6月, 大津

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也
自然縮小を認めた胸腺腫の1切除例
第39回近江呼吸器疾患研究会, 2009年9月, 京都

藤田琢也, 大内政嗣, 尾崎良智, 井上修平
細径胸腔鏡検査が有用であった横隔膜病変の1例
第21回近畿胸腔鏡研究会, 2009年9月, 大阪

井上修平
Closing Remarks
滋賀肺癌骨転移セミナー, 2009年10月, 草津

藤田琢也, 大内政嗣, 尾崎良智, 井上修平
縦隔腫瘍の1例
第37回 Shiga Chest Disease Conference, 2009年11月, 大津

藤田琢也, 大内政嗣, 尾崎良智, 井上修平
原発不明の癌性胸膜炎を呈し偽中皮腫性腺癌と思われた1例
第91回日本肺癌学会関西支部会, 2010年1月, 大津

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 藤田琢也
当院における原発性肺癌 EGFR 遺伝子変異症例の検討
第20回滋賀癌化学療法研究会, 2010年2月, 草津

永井聡子, 堀内保直, 荒木麻里子, 山本修平, 大内政嗣, 藤田琢也, 尾崎良智, 井上修平
EGFR-TKI 投与時の Rash に対する薬剤師の関わり
第20回滋賀癌化学療法研究会, 2010年2月, 草津

藤田琢也, 大内政嗣, 尾崎良智, 井上修平
肺内へ穿破した多房性胸腺嚢胞の1例
第40回近江呼吸器疾患研究会, 2010年3月, 京都

【対外活動】

<講演>

井上修平

呼吸器疾患と救急医療

平成21年度第1回救急勉強会, 2009年8月, 東近江

藤田琢也, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣
肺真菌症について
第20回国立滋賀病院臨床談話会, 2009年8月, 東近江

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也
自然縮小を認めた胸腺腫の1切除例
第21回滋賀病院臨床談話会, 2009年11月, 東近江

藤田琢也, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣
細径胸腔鏡検査が有用であった横隔膜病変の1例
第21回滋賀病院臨床談話会, 2009年11月, 東近江

永井聡子, 堀内保直, 荒木麻里子, 川口ともね, 井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也, 大内政嗣
Erlotinib 皮膚障害に対する薬剤師のかかわり
第21回滋賀病院臨床談話会, 2009年11月, 東近江

村上耕一郎, 川口 晃, 長谷川正人, 井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也, 大内政嗣
肺癌術後胃転移の1症例
第21回滋賀病院臨床談話会, 2009年11月, 東近江

<その他>

井上修平

八方塞がりから三方よしへ (国立滋賀病院院長に就任して)
東近江医師会報, 26-28:2009

井上修平

私の主張—医師不足直面病院の状況—
滋賀県病院協会報, 84号 1:2009

井上修平

緑陰随想—新医師派遣制度の設立は可能か?
滋賀県医師会報, 61(7):29, 2009

国立病院機構 南京都病院 呼吸器外科

【論文】

<和文論文>

朝倉庄志, 一瀬増太郎, 大塩恭彦
胸腔鏡下に修復術を行った肋間肺ヘルニアの1例
日本胸部臨床, 68(8):780-785, 2009

【学会発表】

<地方会・研究会>

大塩恭彦
20歳代の肺癌2手術例
第91回日本肺癌学会関西支部会, 2010年1月, 大津

小松市民病院 外科

【論文】

<和文学術論文>

太田裕之, 塚山正市, 藤岡重一, 村上眞也, 小島正継, 川浦幸光, 辻端亜紀彦
骨盤内膿瘍を契機に診断された Goblet cell carcinoid を合併した原発性虫垂癌の1例
日本臨床外科学会雑誌・71(2):441~444・2010

【学会発表】

<全国学会>

小島正継, 塚山正市, 太田裕之, 村上眞也, 藤岡重一, 辻端亜紀彦, 川浦幸光
腹腔鏡補助下臍体尾部切除術を施行した Pancreatic intraepithelial neoplasia (PanIN) の2例
第22回日本内視鏡外科学会総会・2009年12月・東京

太田裕之, 塚山正市, 藤岡重一, 村上眞也, 小島正継, 川浦幸光, 辻端亜紀彦
虫垂粘液嚢胞腺癌に対して腹腔鏡下回盲部切除術を施行した1例
第22回日本内視鏡外科学会総会・2009年12月・東京

太田裕之, 塚山正市, 小島正継, 藤岡重一, 村上眞也, 川浦幸光
腹腔鏡補助下回盲部切除術を施行した虫垂粘液嚢胞腺癌の1例
第22回日本内視鏡外科学会総会・2009年12月・東京

太田裕之, 塚山正市, 藤岡重一, 小島正継, 村上眞也, 川浦幸光, 辻端亜紀彦
門脈ガス血症を伴った出血性壊死性腸炎の1例
第46回日本腹部救急医学会総会・2010年3月・富山

【対外活動】

<講演>

太田裕之
「明日を生きるがん治療」大腸がんについて
第3回市民公開講座・2009年10月・小松

静岡県立静岡がんセンター 食道外科

【論文】

<英文学術論文>

Tomohiro Yamaguchi, Seiichiro Yamamoto, Shin Fujita, Takayuki Akasu, Yoshihiro Moriya
Long-term Outcome of Metachronous Rectal Cancer Following Ileorectal Anastomosis for
Familial Adenomatous Polyposis
Journal of Gastrointestinal Surgery・14(3):500~505・2010

<和文学術論文>

佐藤 弘、坪佐恭宏 他

胸部食道癌に対する根治目的化学放射線療法と手術の治療後の経過からみた治療法の選択
癌の臨床・55(1) : 15~20・2009

佐藤 弘、坪佐恭宏 他

重炭酸リンゲル液を術中輸液に用いた胸部食道癌手術の周術期のアウトカムの検討
日本外科代謝栄養学会誌・43(4) : 61~66・2009

【学会発表】

<国際学会>

Hiroshi Sato, Yasuhiro Tsubosa

A Fast-track recovery program reduces postoperative body weight loss and length of hospital
stay after thoracic esophageal cancer surgery

The 31st ESPEN Congress・2009 August・Wien

Hiroshi Sato, Yasuhiro Tsubosa

The comparison of radical surgery and definitive chemoradiotherapy for resectable
esophageal cancer

Association of Thoracic and Cardiovascular Surgeons of Asia 2009・2009 October・Seoul

Hiroshi Sato, Yasuhiro Tsubosa

The efficacy of early oral intake for thoracic esophageal cancer surgery

Clinical Nutrition Week 2010・2010 February・Las Vegas

<全国学会 ワークショップ>

山口智弘, 赤須孝之, 三宅基隆, 山本聖一郎, 藤田 伸, 森谷宜皓, 荒井保明, 飯沼 元

早期大腸癌における領域リンパ節転移の予測は可能か?—Multi-Detector Row CT Colonography
を用いた形態学的因子による予測の試み—

第109回日本外科学会定期学術集会・2009年4月・福岡

<全国学会 一般>

佐藤 弘, 坪佐恭宏

胸部食道癌手術における“Fast-track surgery” —早期経腸栄養と早期離床—

第24回日本静脈経腸栄養学会・2009年1月・鹿児島

佐藤 弘, 坪佐恭宏

臨床病期Ⅱ、Ⅲ胸部食道癌に対する手術と根治化学放射線療法の選択

第5回日本消化管学会・2009年2月・東京

坪佐恭宏, 佐藤 弘

術前補助化学療法(5FU+シスプラチン)による食道癌周術期に与える影響

第109回日本外科学会定期学術集会・2009年4月・福岡

佐藤 弘, 坪佐恭宏

切除可能胸部食道癌に対する外科治療と根治的化学放射線療法の比較

第109回日本外科学会定期学術集会・2009年4月・福岡

佐藤 弘, 坪佐恭宏

胸部食道癌手術における同時性重複癌に対する治療の検討

第95回日本消化器病学会総会・2009年5月・札幌

坪佐恭宏, 佐藤 弘

食道癌周術期管理における合併症予防とチーム医療

第63回日本食道学会学術集会・2009年6月・横浜

佐藤 弘, 坪佐恭宏

ERASの概念による胸部食道癌手術の周術期管理 —早期退院を目指して—

第63回日本食道学会・2009年6月・横浜

佐藤 弘, 坪佐恭宏

胸部食道癌に対する根治的化学放射線療法後のサルベージ手術の検討

第 63 回日本食道学会・2009 年 6 月・横浜

佐藤 弘, 坪佐恭宏 他
食道癌の治療ガイドラインの問題点と展望 -院内用ガイドラインの作成・使用を通して-
第 63 回日本食道学会・2009 年 6 月・横浜

坪佐恭宏, 佐藤 弘
75 歳以上の食道癌手術の検討
第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

佐藤 弘, 坪佐恭宏 : Non-T4 cStage II / III 胸部食道癌に対する手術 (±化学療法)、根治的
化学放射線療法
第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

山口智弘, 谷口浩和, 山本聖一郎, 藤田 伸, 赤須孝之, 深澤由里, 関根茂樹, 森谷宜皓, 下
田忠和
大腸粘液癌における予後規定因子について-とくに組織型、浸潤形式について-
第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

佐藤 弘, 坪佐恭宏
胸部食道癌手術の周術期管理における工夫 -ERAS の概念を用いて-
日本外科代謝栄養学会第 46 回学術集会・2009 年 7 月・東京

坪佐恭宏, 佐藤 弘
食道癌根治術後再発診断の検討
第 47 回日本癌治療学会学術集会・2009 年 10 月・横浜

佐藤 弘, 坪佐恭宏 他
ERAS の概念による消化器癌高度侵襲手術の周術期栄養管理 -胸部食道癌手術を中心に-
第 47 回日本癌治療学会学術集会・2009 年 10 月・横浜

佐藤 弘, 坪佐恭宏
根治性と安全性を目指した胸部食道癌に対する根治的放射線療法後のサルベージ手術
第 62 回日本胸部外科学会定期学術集会・2009 年 10 月・横浜

佐藤 弘, 坪佐恭宏
胸部食道癌の術後肺炎予防における気管支鏡の必要性についての検討
第 61 回日本気管気道科学会・2009 年 10 月・横浜

坪佐恭宏, 佐藤 弘
食道癌術後肺炎の検討
第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・京都

佐藤 弘, 坪佐恭宏
胸部食道癌に対する根治的放射線療法後の早期にサルベージ治療に移行する意義
第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・京都

山口智弘, 藤田 伸, 山本聖一郎, 赤須孝之, 森谷宜皓, 下田忠和
大腸粘液癌におけるマイクロサテライト不安定性と臨床病理学的因子との関連について
第 64 回日本大腸肛門病学会・2009 年 11 月・福岡

<研究会・地方会>
山口智弘, 山本聖一郎, 赤須孝之, 藤田 伸, 森谷宜皓 : FAP に対する IRA-最近の当院でのアプ
ローチ
東京セミナー第 31 回学術会議・2009 年 11 月・東京

市立奈良病院

【論文】

<和文学術論文>

徳川奉樹, 小林 文, 日野仁嗣, 小山拓史, 北井祥三, 稲葉征四郎
CA19-9 産生胃癌の1例
日本臨床外科学会雑誌・70(4) : 111~116・2009

徳川奉樹, 小林 文, 奥坊佳子, 松山友彦, 今井俊介, 小山拓史
Trastuzumab 投与中に多発皮膚転移を認め S-1 を併用治療奏功した1例
癌と化学療法・36(4) : 679~682・2009

【学会発表】

<全国学会>

徳川奉樹, 小林 文, 日野仁嗣, 奥坊佳子, 小山拓史, 稲葉征四郎
術前化学療法にて pCR 後に急激な多発肝転移・癌性髄膜炎をきたした乳癌の1例
第17回日本乳癌学会学術総会・2009年7月・東京

徳川奉樹, 小林 文, 奥坊佳子, 小山拓史
高齢者再発乳癌に対し Trastuzumab/Capecitabine 併用療法が奏功した2例
第47回日本癌治療学会学術集会・2009年10月・横浜

徳川奉樹, 小山拓史, 小林 文, 奥坊佳子, 大西希世子, 鳥井千嘉
乳癌患者におけるフェンタニル貼付剤の初回投与の忍容性・有用性の検討
第14回日本緩和医療学会学術大会・2009年6月

<地方会・研究会>

藤野光廣, 日野仁嗣, 井村健一郎 他
脳室腹腔シャント留置患者に対する腹腔鏡補助下胃切除術の1例
第16回奈良県内視鏡下手術研究会・2010年2月・奈良

【対外活動】

<講演>

徳川奉樹
乳癌術後 TC 療法の忍容性について
北和乳腺フォーラム・2009年7月・市立奈良病院内大会議室

徳川奉樹
乳がんの薬物治療についてもっと知ろう！
奈良乳癌セミナー・2009年7月・なら百年会館

藤野光廣
ポート使用を中心とした化学療法
平成21年度第4回院内がん診療勉強会・2010年2月・奈良

藤野光廣
大腸がんの化学療法
平成22年度 第1回 地域がん診療勉強会・2010年6月・奈良

新河端病院 消化管センター 外科

【論文】

<和文論文>

王子裕東, 馬場慎司
Morgagni 孔ヘルニアに対して腹腔鏡下修復術を施行した1例
手術 第63巻第9号:1369-1373, 2009

清水正樹, 王子裕東, 馬場慎司
「巻き結び」を応用した新しい鏡視下体腔内結紮法
手術 第 63 巻第 10 号:1551-1554, 2009

馬場慎司, 王子裕東
二次ホルモン療法として LH-RH アナログとアロマターゼ阻害薬が有効であった閉経前再発乳癌の
1 例
癌と化学療法 第 36 巻第 11 号:1905-1906, 2009

王子裕東, 馬場慎司
完全直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の経験 -らせん型ステイプラーを用いた直腸の直接固
定-
手術 第 63 巻第 13 号:2005-2009, 2009

【学会発表】
<全国学会>
王子裕東, 馬場慎司
腓仮性嚢胞内動脈瘤に対して腹腔鏡下腓尾脾切除術を施行した 1 例
第 109 回日本外科学会総会, 2009 年 4 月, 福岡

馬場慎司, 王子裕東
二次ホルモン療法として LH-RH アナログとアロマターゼ阻害薬が有効であった閉経前再発乳癌の
1 例
第 17 回日本乳癌学会総会, 2009 年 7 月, 東京

馬場慎司, 王子裕東
術後 9 年目の胃癌再発に対し S-1 および CDDP が有効であった 1 例
第 64 回日本消化器外科学会総会, 2009 年 7 月, 大阪

王子裕東, 馬場慎司
完全直腸脱に対するらせん型 stapler を用いた腹腔鏡下直腸固定術の経験
第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2009 年 9 月, 福岡

王子裕東, 馬場慎司
Morgagni 孔ヘルニアに対して腹腔鏡下修復術を施行した 1 例
第 71 回日本臨床外科学会総会, 2009 年 11 月, 京都

馬場慎司, 王子裕東
施設間での食事環境の調整により栄養状態が改善した胃癌術後の 1 例
第 71 回日本臨床外科学会総会, 2009 年 11 月, 京都

王子裕東, 馬場慎司
腹腔鏡下膵切除術を施行した膵 IPMT の 2 例
第 22 回日本内視鏡外科学会総会, 2009 年 12 月, 東京

馬場慎司, 王子裕東
左骨盤内腫瘍として発見され腹腔鏡下切除を施行した虫垂粘液嚢胞腺腫による腸重積症の 1 例
第 22 回日本内視鏡外科学会総会, 2009 年 12 月, 東京

馬場慎司, 王子裕東
施設間での食事環境の調整が必要であった胃癌術後の 1 例
第 25 回日本静脈経腸栄養学会, 2010 年 2 月, 千葉

<地方会・研究会>
王子裕東, 馬場慎司
上腸間膜動脈症候群に対して腹腔鏡下手術を施行した 2 例
第 10 回乙訓消化器手術症例懇話会, 2009 年 9 月, 京都

新古賀病院

【論文】

<和文学術論文>

丹後泰久, 宇治祥隆, 高尾貴史, 入江康司
右副腎悪性腫瘍が疑われた後腹膜神経鞘腫の1例
日本臨床外科学会雑誌・71(3):232~236・2009

【学会発表】

<地方会・研究会>

藤村峰志, 肥山淳一郎, 澤本良子, 古賀久士, 高尾貴史, 丹後泰久, 馬場活嘉
救命し得た特発性食道破裂の1症例
第288回日本内科学会九州地方会・2010年1月・九州大学医学部百年講堂

新生病院 外科

【論文】

<和文学術論文>

太田裕之, 岡内 博, 白木正裕, 塩貝陽而, 土増 聡
外傷性上行結腸間膜血腫の1例
外科・71(10):1135~1138・2009

【学会発表】

<全国学会>

Kenji Okumura, Shengbing Huang, Frank A Sinicrope
Induction of Noxa sensitizes human colorectal cancer cells expressing Mcl-1 to the
Bcl-2/Bcl-xL inhibitor, ABT-737
第68回日本癌学会学術総会・2009年10月・横浜

第一東和会病院 内視鏡外科センター

【論文】

<和文学術論文>

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 舛田誠二, 弓場孝郁, 一瀬真澄
腹腔鏡下手術にて診断、治療し得た子宮広間膜裂孔ヘルニアの一例
日本内視鏡外科学会雑誌, 14(5):537-542, 2009

舛田誠二, 藤村昌樹, 佐藤 功, 弓場孝郁, 沖田充司, 高原秀典
術前診断のもと腹腔鏡下に修復した大網裂孔ヘルニアの1例
日本臨床外科学会雑誌, 70(12):3694-3698, 2009

【学会発表】

<国際学会>

Yoshihide Chino, Masaki Fujimura, Isao Sato, Seiji Masuda, Takafumi Yuba, Tomotake Tabata,
Atsushi Okita, Minoru Iida
Laparoscopic Cholelithotomy-operative techniques and indications-
AsianAmerican Multispecialty Summit, February 2010, Hawaii

<全国学会>

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 舛田誠二, 弓場孝郁, 田畑智丈, 沖田充司, 飯田 稔
当センターにおける内視鏡外科医の教育～一般内視鏡外科医を目指して～
第64回日本消化器外科学会総会, 2009年7月, 大阪

佐藤 功, 藤村昌樹, 舛田誠二, 千野佳秀, 沖田充司, 弓場孝郁, 田畑智丈, 飯田 稔, 田中久富 加藤
雅也

尿管遺残症に対する腹腔鏡下手術
第 22 回日本内視鏡外科学会総会, 2009 年 12 月, 東京

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 舩田誠二, 弓場孝郁, 田畑智文, 沖田充司, 飯田 稔, 八木俊和, 加藤雅也
地域医療と内視鏡外科手術
第 22 回日本内視鏡外科学会総会, 2009 年 12 月, 東京

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 舩田誠二, 弓場孝郁, 田畑智文, 沖田充司, 飯田 稔, 八木俊和, 加藤雅也
色素を用いた腹腔鏡下ヘルニア根治術の工夫 -手術の安全性と時間短縮を目指して-
第 22 回日本内視鏡外科学会総会, 2009 年 12 月, 東京

舩田誠二, 藤村昌樹, 佐藤 功, 千野佳秀, 田畑智文, 沖田充司, 弓場孝郁, 飯田 稔, 高原秀典
イレウスで発症した原発性回盲部腸結核の 1 例
第 22 回日本内視鏡外科学会総会, 2009 年 12 月, 東京

<地方会・研究会>
千野佳秀
内視鏡手術におけるチーム医療について
第 4 回大阪内視鏡手術研究会, 2009 年 11 月

帝京大学医学部附属溝口病院 外科（呼吸器外科）

【論文】

<英文論文>

Niwa H, Tanahashi M, Kondo T, Ohsaki Y, Okada Y, Sato S, Suzuki E, Senba H, Fujino S, Miyazawa T, Kobayashi K
Bronchoscopy in Japan: a survey by the Japan Society for Respiratory Endoscopy in 2006
Respirology, 14(2):282-9, 2009

<和文論文>

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の基礎の理解と術前・術後管理、第 1 回 これだけは押さえておきたい呼吸器の解剖生理
呼吸器&循環器ケア, 9(1), 30-35, 2009

藤野昇三
胸腔鏡手術の功と罪
帝京医学雑誌, 32(3), 189-197, 2009

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の基礎の理解と術前・術後管理、第 2 回 呼吸器外科領域で知っておくべき検査・術式の知識
呼吸器&循環器ケア, 9(2), 82-87, 2009

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の基礎の理解と術前・術後管理、第 3 回 術前・術後管理の必須観察項目と胸腔ドレーン管理の急所
呼吸器&循環器ケア, 9(3), 34-40, 2009

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の基礎の理解と術前・術後管理、第 4 回 術後合併症の対策と急変時の対応
呼吸器&循環器ケア, 9(4), 104-110, 2009

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の基礎の理解と術前・術後管理、第 5 回 原発性肺がんの臨床基礎知識とケアの留意点
呼吸器&循環器ケア, 9(5), 104-110, 2009

藤野昇三

呼吸器外科領域における疾患・病態の基礎の理解と術前・術後管理、第6回 これだけは押さえておきたい呼吸器の解剖生理
呼吸器&循環器ケア, 9(6), 78-85, 2010

福田直人, 杉山保幸, 藤野昇三, 緑川 泰, 虫明寛行, 渋谷健太郎
80歳以上高齢者急性腹症手術例の予後指標因子の検討
日本腹部救急医学会雑誌, 29(4), 571-574, 2009

【学会発表】

<全国学会>

福田直人, 杉山保幸, 藤野昇三, 丸野 要, 緑川 泰, 虫明寛行, 渋谷健太郎
胃癌手術例における予後指標因子としての転移リンパ節比の検討
第109回日本外科学会定期学術集会, 2009

杉山保幸, 渡部真人, 中島隆宏, 渋谷健太郎, 虫明寛行, 緑川 泰, 福田直人, 藤野昇三
結腸ストーマの再造設が必要となったストーマ傍ヘルニアの1例
第7回日本ヘルニア学会学術集会, 2009

虫明寛行, 山野陽土, 福田直人, 渋谷健太郎, 緑川 泰, 丸野 要, 藤野昇三, 杉山保幸
発症から約3週間後に手術を施行した上腸間膜動脈閉塞症の1例
第45回日本腹部救急医学会総会, 2009

金 俊行, 小山ひかり, 大林王司, 山内康宏, 寺山 正, 藤野昇三, 滝澤 始
び慢性肺疾患患者における呼気凝縮液中の各種増殖因子測定の意義
第32回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2009

小山ひかり, 大林王司, 吉崎友之, 藤野昇三, 藤田賢一, 大田 健, 滝澤 始
遷延性および慢性咳に関する臨床的検討
第46回日本アレルギー学会総会, 2009

太田 竜, 小根山正貴, 高橋保正, 後藤 学, 藤野昇三, 杉山保幸, 関川浩司
術後早期の局所再発、遠隔転移に対し切除を施行した乳腺原発 malignant fibrous histiocytoma
の治療経験
第17回日本乳癌学会総会, 2009

杉山保幸, 藤野昇三, 福田直人, 緑川 泰, 虫明寛行
外科的合併症をきたさないためのストーマ造設の工夫とトラブルをきたした際の管理
第71回日本臨床外科学会総会, 2009

福田直人, 杉山保幸, 藤野昇三, 緑川 泰, 虫明寛行, 渋谷健太郎
局所進行 T3, T4 胃癌の臨床病理学的検討
第71回日本臨床外科学会総会, 2009

杉山保幸, 藤野昇三, 福田直人, 緑川 泰, 虫明寛行
切除不能進行・再発大腸癌に対する化学療法の外科スタッフのみによる効率的な実施方法
第71回日本臨床外科学会総会, 2009

<地方会・研究会>

古賀荘一, 小山ひかり, 大林王司, 筒井健太, 土屋喜照, 江口正信, 水口國雄, 藤野昇三, 滝澤 始
初診後急速に心タンポナーデからショックに陥った若年性肺癌の1例
第183回日本呼吸器学会関東地方会, 2009

金 俊之, 小山ひかり, 大林王司, 江口正信, 水口國雄, 藤野昇三, 滝澤 始
鑑別診断に苦慮した偽中皮腫様腺癌と悪性胸膜中皮腫の2例
第128回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2009

金 俊之, 小山ひかり, 大林王司, 藤野昇三, 江口正信, 水口國雄, 多胡正夫, 滝澤 始
エルロチニブとゾレドロン酸併用が骨転移コントロール及びADL改善に有用だった肺癌2例
第566回日本内科学会関東地方会, 2009

千場 博, 丹羽 宏, 大崎能伸, 奥仲哲弥, 佐藤滋樹, 鈴木栄一, 藤野昇三, 宮澤輝臣
日本呼吸器内視鏡学会編「気管支鏡説明文書(検査編、治療編)」の紹介
第32回日本呼吸器内視鏡学会九州支部会, 2009

藤沢武彦, 金子教宏, 池田徳彦, 大森一光, 渋谷 潔, 中島崇弘, 丹羽 宏, 藤野昇三, 大崎能伸
委員会報告 気管支鏡検査を安全に苦しくなく行えるか
第31回日本呼吸器内視鏡学会北海道支部会, 2009

張 杰, 金 俊之, 小山ひかり, 大林王司, 藤野昇三, 水口國雄, 江口正信, 吉田 稔, 村川裕二, 滝澤
始
放射線・化学療法が有効だった45歳女性の胸腺癌の一例及びADL改善に有用だった肺癌2例
第569回日本内科学会関東地方会, 2010

藤野昇三
遷延した人工呼吸管理下に拡大胸腺胸腺腫摘出術を施行した3期胸腺腫合併重症筋無力症の1例
第40回近江呼吸器疾患研究会, 2010

藤野昇三, 虫明寛行, 渋谷健太郎, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 杉山保幸, 渋谷 勲
カフェイン併用化学療法が奏功した胸壁明細胞肉腫の1例
第38回近江呼吸器疾患研究会, 2009

藤野昇三, 下山陽也, 中島隆宏, 渡部真人, 渋谷健太郎, 虫明寛行, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 杉
山保幸
奇静脈より下位の傍脊椎領域に責任病巣を認めた気胸症例について
第39回近江呼吸器疾患研究会, 2009

梅沢謙一, 三好由里子, 虫明寛行, 渋谷健太郎, 緑川 泰, 張 杰, 渡部真人, 福田直人, 丸野 要, 藤
野昇三, 杉山保幸, 兵地信彦, 大矢和宏, 関根英明
尿路感染症を反復したS状結腸膀胱瘻の2例
第42回溝口病院症例研究検討会, 2009

渋谷健太郎, 虫明寛行, 中島隆宏, 渡部真人, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 勝又健次, 藤野昇三, 杉
山保幸
イレウスで発症した狭窄型虚血性小腸炎の1例
第44回溝口病院症例研究検討会, 2010

中島隆宏, 虫明寛行, 渡部真人, 渋谷健太郎, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 勝又健次, 藤野昇三, 杉
山保幸, 柿坂 仁, 美甘任史, 筒井健太, 国島友之, 川上高幸, 村川裕二
NOMI (Nonocclusive mesenteric ischemia) の2例
第44回溝口病院症例研究検討会, 2010

中島隆宏, 虫明寛行, 渡部真人, 渋谷健太郎, 緑川 泰, 福田直人, 丸野 要, 勝又健次, 藤野昇三, 杉
山保幸
門脈ガス血症を呈した非閉塞性腸管虚血症の1例
第127回神奈川県臨床外科医学会集体会, 2010

【対外活動】

<講習会講師>

藤野昇三

第21回呼吸器外科胸腔鏡セミナー

藤野昇三

第22回呼吸器外科胸腔鏡セミナー

<看護セミナー>

藤野昇三

呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント(日総研)

東京大学

【学会発表】

<国際学会>

Sachiko Kaida, Horacio Cabral, Michiaki Kumagai, Nobuhiro Nishiyama, Toru Tani, Kazunori Kataoka

Development of Theranostic Polymeric Micelles Incorporating Anticancer Drugs and MRI Contrast Agents

36th Annual Meeting & Exposition of the Controlled Release Society・2009年7月・Copenhagen, Denmark

豊郷病院 外科

【学会発表】

<全国学会>

望月慶子, 佐藤浩一郎, 蔦本慶裕

虫垂癒着による絞扼性イレウスを腹腔鏡下に解除しえた一例

第22回日本内視鏡外科学会総会・2009年12月・東京

<地方会・研究会>

望月慶子, 佐藤浩一郎, 若林正人, 蔦本慶裕

豊郷病院における腹腔鏡下手術の取り組み

第8回琵琶湖消化器懇話会・2009年5月・草津

佐藤浩一郎

豊郷病院における腹腔鏡下手術の取り組み

第8回琵琶湖消化器懇話会・2009年5月・草津

佐藤浩一郎, 望月慶子, 蔦本慶裕

メッケル憩室の一例

第9回琵琶湖消化器懇話会・2009年12月・草津

【対外活動】

<講演>

佐藤浩一郎

MRガイド下の肝腫瘍手術

第21回愛知犬神医師連絡会・2009年11月・愛知、犬上医師連絡会

虎の門病院

【学会発表】

<全国学会>

竹林克士, 木ノ下義宏, 田中 毅, 小川雅子, 江原一尚, 上野正紀, 宇田川晴司

食道表在癌の化学放射線療法後12年目に同部位に発生した食道癌肉腫の1例

第71回日本臨床外科学会・平成21年11月・京都

長岡京病院

【論文】

<和文学術論文>

安 炳九, 水黒知行

臨床症状を伴った単純性嚢胞疾患に対する、塩酸ミノサイクリン反復注入療法

【学会発表】

<地方会・研究会>

安 炳九, 神谷純広, 水黒知行

腸石嵌頓により小腸穿孔をきたした Crohn 病の一例

第 10 回乙訓消化器手術症例懇話会・2009 年 10 月・長岡京

安 炳九, 水黒知行

臨床症状を伴った単純性嚢胞疾患に対する、塩酸ミノサイクリン注入療法

第 19 回乙訓医学会・2009 年 11 月・京都

長浜赤十字病院

【論文】

<和文学術論文>

谷口正展, 光藤悠子, 中村誠昌, 白石 享, 下松谷匠, 丸橋和弘

長期透析患者に持続的血液濾過透析を併用し腹腔鏡下副腎摘出術を施行した褐色細胞腫の 1 例

日本臨床外科学会雑誌・70(6) : 1836~1841・2009

前田健一, 下松谷匠, 谷口正展, 中村誠昌, 白石 享, 丸橋和弘

肝吸虫症に合併した胆管癌の 1 例

日本臨床外科学会雑誌・70(5) : 1481~1485・2009

【学会発表】

<全国学会>

下松谷匠, 光藤悠子, 北村直美, 中村誠昌, 田畑貴久, 白石 享

急速な転帰をきたしたトリプルネガティブ乳癌の 1 例

第 17 回日本乳癌学会総会・2009 年 7 月・東京

光藤悠子, 北村直美, 中村誠昌, 白石 享, 下松谷匠

骨髄癌症で発見され、化学療法が著効した乳癌の一例

第 17 回日本乳癌学会総会・2009 年 7 月・東京

下松谷匠, 光藤悠子, 北村直美, 谷口正展, 中村誠昌, 田畑貴久, 白石 享, 丸橋和弘

食道・胃接合部癌、Barrett 食道癌に対する治療戦略 食道・胃接合部癌に対する治療戦略

第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

中村誠昌, 光藤悠子, 北村直美, 谷口正展, 岡内 博, 白石 享, 下松谷匠, 丸橋和弘

治療開始時に診断を誤った消化管 GIST 症例の検討

第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

光藤悠子, 前田健一, 北村直美, 谷口正展, 中村誠昌, 白石 享, 鈴木雅之, 下松谷匠, 丸橋和弘

進行・再発大腸癌に対する化学療法の当院の現状

第 64 回日本消化器外科学会総会・2009 年 7 月・大阪

下松谷匠, 光藤悠子, 北村直美, 谷口正展, 中村誠昌, 田畑貴久, 白石 享, 丸橋和弘 : 食道胃

接合部癌の治療はどう変わったか 食道・胃接合部癌の治療戦略

第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・大阪

中村誠昌, 光藤悠子, 北村直美, 谷口正展, 岡内 博, 白石 享, 下松谷匠, 丸橋和弘

Imatinib 耐性 GIST の遺伝子変異を含めた検討と Sunitinib の使用経験

第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・大阪

谷口正展, 光藤悠子, 北村直美, 岡内 博, 中村誠昌, 白石 享, 下松谷匠, 丸橋和弘

当科における SSI 対策と現状

第 71 回日本臨床外科学会総会・2009 年 11 月・大阪

谷口正展, 光藤悠子, 北村直美, 岡内 博, 中村誠昌, 下松谷匠

長期透析患者の褐色細胞腫に対し腹腔鏡下副腎摘出術を施行した1例
第22回日本内視鏡外科学会総会・2009年12月・東京

下松谷匠, 光藤悠子, 北村直美, 谷口正展, 中村誠昌, 田畑貴久
腹腔鏡下胃手術におけるオクトパスを用いた視野展開の工夫
第22回日本内視鏡外科学会総会・2009年12月・大阪

長浜赤十字病院 救急部

【論文】

＜和文学術論文＞

下松谷匠, 光藤悠子, 北村直美, 谷口正展, 中村誠昌, 田畑貴久
腹腔鏡下胃手術におけるオクトパスを用いた視野展開の工夫
日本内視鏡外科学会雑誌(1344-6703)・14(7) : 561・2009

下松谷匠, 光藤悠子, 北村直美, 谷口正展, 中村誠昌, 田畑貴久, 白石 享, 丸橋和弘
食道胃接合部癌の治療はどう変わったか 食道・胃接合部癌の治療戦略
日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)・70(増刊) : 366・2009

下松谷匠, 光藤悠子, 北村直美, 中村誠昌, 田畑貴久, 白石 享
急速な転帰をきたしたトリプルネガティブ乳癌の1例
日本乳癌学会総会プログラム抄録集17回・490・2009

下松谷匠, 前田健一, 谷口正展, 田畑貴久, 白石 享
高度進行胃癌に対するTS-1/paclitaxel 併用療法による primary chemotherapy
日本胃癌学会総会記事81回・222・2009

下松谷匠, 丸橋和弘, 白石 享, 中村誠昌, 田畑貴久, 谷口正展, 北村直美, 光藤悠子
食道・胃接合部癌、Barrett 食道癌に対する治療戦略 食道・胃接合部癌に対する治療戦略
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)・42(7) : 967・2009

清水智治, 遠藤善裕, 目片英治, 山本 寛, 村田 聡, 塩見尚礼, 仲 成幸, 森 毅, 赤堀浩也,
田畑貴久, 山口 剛, 来見良誠, 谷 徹
Bacterial translocation 消化器外科周術期の血中微生物構成成分の変動
日本外科系連合学会誌(0385-7883)・34(3) : 499・2009

【学会発表】

＜全国学会＞

中村正志, 金澤 豊, 中村誠昌, 田畑貴久
病院の集団災害受入訓練を実施して 5年間の活動経過から
第15回日本集団災害医学会・2010年2月・千葉

大橋直美, 伊吹好弘, 大家達哉, 野上幸代, 田畑貴久, 中村誠昌
ベッドサイドで実施する患者急変時対応シミュレーション研修の実際
第4回医療の質・安全学会・2009年11月・東京

北村絵里子, 天野聡子, 西池 健, 山本智巳, 中川輝彦, 田畑貴久, 白石 享
HBVによる重症肝炎に対し、PE+CHDFを中心とした集学的治療にて劇症化を防ぎ、救命し得た1例
第30回日本アフェレシス学会学術大会・2009年9月・札幌

【対外活動】

＜講演＞

田畑貴久
救急医療のかかえる現状
赤十字県民大学・2009年5月・米原

はえうち診療所

【学会発表】

＜地方会・研究会＞

生内一夫

脱出を伴う内痔核に対する硫酸アルミニウムカリウム・タンニン酸（ALTA）療法
第95回滋賀県外科医会・2009年6月・大津

生内一夫

ALTA単独療法の肛門管内外痔核（中間痔核）脱出に対する有効性について
第4回関西北陸ALTA研究会・2009年8月・大阪

日野記念病院

【学会発表】

＜地方会・研究会＞

土橋洋史，長谷川均，内藤弘之，花澤一芳

術後癒着性イレウスの一例

第9回琵琶湖消化器外科懇話会・2009年12月・草津

伊藤文，土橋洋史，長谷川均，内藤弘之，花澤一芳

消化管出血を伴った麻痺性イレウスの一例

第10回琵琶湖外科懇話会・2010年6月・草津

びわこ学院大学・しんや医院

【論文】

＜和文学術論文＞

新屋久幸

これからの課題 -介護人事の育成策-

びわこ学院大学紀要，創刊号：p97-99，2009

【学会発表】

＜全国学会 シンポジウム＞

新屋久幸

乳がんについて考えよう

第6回健康塾，2009年10月，京都

【対外活動】

＜講演＞

新屋久幸

やさしいメンタルヘルス

京都地方裁判所職員研修会，2009年11月，京都

新屋久幸

避難所での健康管理

京都市中京区防災訓練，2009年12月，京都

新屋久幸

ご存知ですか？アンチエイジング

健康寺子屋，2010年2月，京都

ベルランド総合病院 外科

【論文】

<和文学術論文>

川崎誠康, 今川敦夫, 市川 剛, 小川雅生, 園尾広志, 出村公一, 亀山雅男
S状結腸癌術後早期に髄膜炎および腸腰筋膿瘍を合併した2例
日本大腸肛門病学会雑誌・475~480・2009

川崎誠康, 田中麻紀子, 市川 剛, 小川雅生, 藤尾長久, 亀山雅男
横行結腸癌術後肝門部・大動脈周囲リンパ節転移に対する根治的リンパ節郭清が奏効した1例
日本臨床外科学会雑誌・2421~2425・2009

【学会発表】

<全国学会 ビデオセッション>

川崎誠康
術者と助手の協調性を重視した腹腔鏡下大腸切除
第71回日本臨床外科学会総会・2009年11月・京都

<全国学会 一般発表>

川崎誠康, 今川敦夫, 市川 剛, 山崎圭一, 出村公一, 園尾広志, 小川雅生, 藤尾長久, 亀山雅男
肺癌小腸転移による小腸穿孔をきたした1例
第34回日本外科系連合学会学術集会・2009年6月・東京

川崎誠康

Stage II 大腸癌の再発危険因子と治療に関する検討
第47回日本癌治療学会・2009年10月・横浜

川崎誠康, 和田範子, 今川敦夫, 植木智之, 市川 剛, 園尾広志, 山崎圭一, 出村公一, 小川雅生, 福長洋介, 亀山雅男
下行結腸癌術後、異時性に脾臓・卵巣転移をきたした1例
第64回日本大腸肛門病学会学術集会・2009年11月・福岡

川崎誠康, 和田範子, 今川敦夫, 植木智之, 市川 剛, 山崎圭一, 小川雅生, 出村公一, 園尾広志, 福永洋介, 藤尾長久, 亀山雅男
当科における腹壁癒痕ヘルニア手術症例の検討
第71回日本臨床外科学会総会・2009年11月・京都

出村公一, 和田範子, 今川敦夫, 植木智之, 市川 剛, 山崎圭一, 小川雅生, 園尾広志, 川崎誠康, 福長洋介, 藤尾長久, 亀山雅男
AFP産生胃癌術後リンパ節再発に対し third line 化学療法が奏功し、切除後 CR が得られた一例
第71回日本臨床外科学会総会・2009年11月・京都

植木智之, 和田範子, 今川敦夫, 市川 剛, 山崎圭一, 小川雅生, 園尾広志, 出村公一, 川崎誠康, 福長洋介, 藤尾長久, 亀山雅男
腹腔鏡下に切除した尿管遺残症の1例
第22回日本内視鏡外科学会総会・2009年12月・東京

出村公一, 瀧口修司, 植木智之, 山崎圭一, 小川雅生, 園尾広志, 川崎誠康, 福長洋介, 亀山雅男, 土岐祐一郎
当院における腹腔鏡補助下胃切除術の導入
第22回日本内視鏡外科学会総会・2009年12月・東京

出村公一, 和田範子, 今川敦夫, 植木智之, 市川 剛, 園尾広志, 山崎圭一, 小川雅生, 川崎誠康, 福長洋介, 藤尾長久, 亀山雅男
FP+radiation が奏功し、手術可能となった胃扁平上皮癌の一例
第82回日本胃癌学会総会・2010年3月・新潟

<地方会・研究会>

出村公一
進行再発胃癌に対するTS-1+CDDPを用いたNAC後拡大手術
第8回南大阪癌フォーラム・2009年4月・大阪

川崎誠康
米国に学ぶ創傷ケアの実際
第570回大阪外科集談会・2009年7月・大阪

出村公一
進行再発胃癌に対する術前化学療法後拡大郭清
第570回大阪外科集談会（教育セミナー）・2009年7月・大阪

川崎誠康, 和田範子, 植木智之, 今川敦夫, 市川 剛, 山崎圭一, 園尾広志, 小川雅生, 出村公一, 福長洋介, 藤尾長政, 亀山雅男
pStage II 大腸癌の再発危険因子と治療方針に関する検討
第71回大腸癌研究会・2009年7月・大宮

川崎誠康
Stage III 大腸癌におけるリンパ節転移個数と予後の関係
第72回大腸癌研究会・2010年1月・久留米

みずき皮フ科クリニック

【学会発表】
＜国際学会 シンポジウム＞
Mikiko Enokibori
A Multiple Device Approach to Nonablative Total Skin Photo-Rejuvenation
International Societies for Laser Surgery and Medicine, 18th Annual Conference, November 2009, Tokyo

＜全国学会 ワークショップ＞
榎堀みき子
Multiplex™ Technology, Cynosure Inc.
第30回 日本レーザー医学会総会, 2009年12月, 東京

【対外活動】
＜講演＞
榎堀みき子
尋常性ざ瘡治療ガイドラインと外用療法ーディフェリンの上手な使い方
シオノギ製薬セミナー, 2009年11月, 草津

明和病院

【論文】
＜和文学術論文＞
飯田洋也, 安井智明, 相原 司, 山中若樹
腹腔鏡照明と小開腹直視下を融合した肝切除
手術・63(8) : 1129~1133・2009

飯田洋也, 安井智明, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 山中若樹
胆管空腸吻合とラジオ波治療の併施により肝膿瘍、敗血症をきたした肝細胞癌合併肝内結石症の1例
日本臨床外科学会雑誌・70(9) : 2767~2771・2009

菊地勝一, 近藤寿郎, 生田真一, 飯田洋也, 相原 司, 安井智明, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹, 覚野綾子, 中正恵二
肝細胞癌を合併した非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) の臨床病理学的検討
肝臓・50(11) : 626~633・2009

【学会発表】

＜全国学会 シンポジウム＞

相原 司, 安井智明, 別府直仁, 友松宗史, 名取恵子, 吉江秀範, 飯田洋也, 生田真一, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹

肝細胞癌術後合併症予測としての術中門脈圧測定の意義

第71回日本臨床外科学会総会・2009年11月・京都

＜全国学会 ビデオシンポジウム＞

柳 秀憲, 吉江秀範, 安井智明, 相原 司, 生田真一, 飯田洋也, 名取恵子, 友松宗史, 花田庄司, 前田晃宏, 亀田光二, 光信正夫, 山中若樹

下部直腸癌に対する括約筋合併切除を併用した経腹肛門式直腸切除術、J型結腸囊肛門吻合術の手術術式と臨床成績

第109回日本外科学会定期学術集会・2009年4月・福岡

飯田洋也, 安井智明, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 名取恵子, 友松宗史, 別府直仁, 栗本亜美, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹

小開腹下の肝切除(Light-guided miniopen hepatectomy)

第71回日本臨床外科学会総会・2009年11月・京都

＜全国学会 パネルディスカッション＞

飯田洋也, 安井智明, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 名取恵子, 友松宗史, 花田庄司, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹

肝細胞癌に対するRFA治療後の再発形態からみた治療選択—切除 vs RFA—

第21回日本肝胆膵外科学会・学術集会・2009年6月・名古屋

＜全国学会 サージカルフォーラム＞

安井智明, 飯田洋也, 柳 秀憲, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 名取恵子, 友松宗史, 光信正夫, 山中若樹

大腸癌肝転移に対する切除を軸とした集学的治療—低侵襲治療(Ablation)から拡大切除(計画的二期的肝切除)まで—

第21回日本肝胆膵外科学会・学術集会・2009年6月・名古屋

安井智明, 相原 司, 柳 秀憲, 生田真一, 名取恵子, 吉江秀範, 飯田洋也, 友松宗史, 別府直仁, 栗本亜美, 菊地勝一, 光信正夫, 山中若樹

外科手術の教育：消化器外科総合力を重視した肝胆膵外科専門教育システム

第71回日本臨床外科学会総会・2009年11月・京都

＜全国学会 一般発表＞

安井智明, 生田真一, 相原 司, 吉江秀範, 飯田洋也, 名取恵子, 菊地勝一, 友松宗史, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹

右肝動脈閉塞を合併した肝門部良性胆道狭窄に対する communicating arcade を温存し肝左葉切除併施した胆道再建術

第109回日本外科学会定期学術集会・2009年4月・福岡

飯田洋也, 相原 司, 安井智明, 生田真一, 吉江秀範, 名取恵子, 友松宗史, 花田庄司, 前田晃宏, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹, 大掛馨太, 原田武志

ラジオ波焼灼術術中組織抵抗のモニタリングによる Popping 予測

第45回日本肝臓学会総会・2009年6月・神戸

安井智明, 生田真一, 相原 司, 飯田洋也, 吉江秀範, 名取恵子, 菊地勝一, 友松宗史, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹, 覚野綾子

IPMN 症例の手術適応に関する検討

第21回日本肝胆膵外科学会・学術集会・2009年6月・名古屋

生田真一, 安井智明, 相原 司, 名取恵子, 吉江秀範, 飯田洋也, 友松宗史, 花田庄司, 前田晃宏, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹

膵癌の予後因子からみたゲムシタピンの意義

第21回日本肝胆膵外科学会・学術集会・2009年6月・名古屋

菊地勝一, 光信正夫, 飯田洋也, 生田真一, 吉江秀範, 相原 司, 安井智明, 柳 秀憲, 山中若樹, 覚野綾子, 加古泰一

腸重積で発症した骨形成性乳癌の小腸転移の1症例
第17回日本乳癌学会学術総会・2009年7月・東京

相原 司, 安井智明, 友松宗史, 飯田洋也, 吉江秀範, 生田真一, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹

肝切除術中門脈圧測定の意義
第64回日本消化器外科学会総会・2009年7月・大阪

安井智明, 生田真一, 相原 司, 吉江秀範, 飯田洋也, 名取恵子, 菊地勝一, 友松宗史, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹, 覚野綾子

IPMN症例の良悪性の鑑別に関する診療のポイント
第51回日本消化器病学会大会・2009年10月・京都

相原 司, 安井智明, 吉江秀範, 飯田洋也, 生田真一, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹

肝切除術中門脈圧測定の意味
第51回日本消化器病学会大会・2009年10月・京都

生田真一, 安井智明, 相原 司, 名取恵子, 吉江秀範, 飯田洋也, 友松宗史, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹

切除・非切除隣管癌に対するゲムシタピンの効果
第51回日本消化器病学会大会・2009年10月・京都

友松宗史, 柳 秀憲, 飯田洋也, 名取恵子, 吉江秀範, 生田真一, 相原 司, 光信正夫, 安井智明, 山中若樹

局所進行直腸癌T4直腸癌に対する術前化学放射線療法の検討
第64回日本大腸肛門病学会学術集会・2009年11月・福岡

友松宗史, 柳 秀憲, 栗本亜美, 別府直仁, 飯田洋也, 吉江秀範, 名取恵子, 生田真一, 相原 司, 安井智明, 光信正夫, 山中若樹

局所進行直腸癌に対する術前化学放射線療法の検討
第71回日本臨床外科学会総会・2009年11月・京都

別府直仁, 柳 秀憲, 光信正夫, 安井智明, 相原 司, 生田真一, 名取恵子, 吉江秀範, 飯田洋也, 友松宗史, 栗本亜美, 山中若樹

同時性横行結腸(T3)・下部直腸(T4)重複癌に対して化学放射線療法を併用した計画的分割手術と肛門温存を可能にした治癒切除の1例
第71回日本臨床外科学会総会・2009年11月・京都

生田真一, 柳 秀憲, 安井智明, 相原 司, 名取恵子, 吉江秀範, 飯田洋也, 友松宗史, 別府直仁, 栗本亜美, 光信正夫, 山中若樹, 谷村紀代子

術後MRSA感染に対するリネゾリドの有効性と副作用に関する検討
第22回日本外科感染症学会総会・2009年12月・宇部

<地方会・研究会>

飯田洋也, 安井智明, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 名取恵子, 友松宗史, 別府直仁, 栗本亜美, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹, 加古泰一, 末定靖英

門脈血行遮断術後(経皮経肝的門脈塞栓術と片葉門脈結紮術)の血行動態と萎縮効果
第45回日本肝臓研究会(ワークショップ)・2009年7月・福岡

相原 司, 安井智明, 友松宗史, 飯田洋也, 吉江秀範, 生田真一, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹

肝切除術における術中門脈圧測定の意味
第45回日本肝臓研究会(ワークショップ)・2009年7月・福岡

飯田洋也, 安井智明, 相原 司

非B非C型肝炎の臨床病理学的検討

第38回日本肝臓学会西部会(ワークショップ)・2009年12月・鳥取

安井智明, 相原 司, 生田真一, 飯田洋也, 吉江秀範, 名取恵子, 友松宗史, 別府直仁, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹, 大掛馨太, 中村佳子, 岸 清彦, 春日井博志, 脇 英彦

ラジオ波焼灼術における治療困難・危険症例に対するアプローチの工夫
第45回日本肝臓研究会(パネルディスカッション)・2009年7月・福岡

生田真一, 安井智明, 相原 司, 吉江秀範, 名取恵子, 飯田洋也, 友松宗史, 別府直仁, 栗本亜美, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹
C型慢性肝炎を背景にした肝内結石合併表層進展型肝内胆管癌の一例
第6回鳴尾消化器疾患検討会・2009年5月・西宮

生田真一, 安井智明, 相原 司, 名取恵子, 吉江秀範, 飯田洋也, 友松宗史, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹, 覚野綾子
C型慢性肝炎を背景にした肝内結石合併表層進展型肝内胆管癌の1例
第185回近畿外科学会・2009年6月・神戸

相原 司, 飯田洋也, 安井智明, 生田真一, 吉江秀範, 名取恵子, 友松宗史, 別府直仁, 栗本亜美, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹
多発進行肝癌に対する切除の検討ー長期生存が期待できる条件ー
第9回関西肝血流動態イメージ研究会・2009年7月・大阪

相原 司, 安井智明, 別府直仁, 友松宗史, 飯田洋也, 吉江秀範, 名取恵子, 生田真一, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹, 興津茂行, 末定靖英
結節毎にオーダーメイド化した多発肝細胞癌の治療
第44回近畿肝癌談話会・2009年8月・大阪

脇 英彦, 伊東宏祐, 岸 清彦, 大掛馨太, 原田武志, 飯田洋也, 生田真一, 相原 司, 安井智明, 山中若樹
経皮的ラジオ波焼灼術における Sonazoid 造影超音波の有用性
日本超音波検査学会第11回JSS関西地方会・2009年8月・大阪

伊東宏祐, 脇 英彦, 岸 清彦, 大掛馨太, 原田武志, 飯田洋也, 生田真一, 相原 司, 安井智明, 山中若樹
肝動脈塞栓術後の経皮的ラジオ波焼灼術における Sonazoid 造影超音波の有用性
日本超音波検査学会第11回JSS関西地方会・2009年8月・大阪

友松宗史, 安井智明, 生田真一, 相原 司, 名取恵子, 吉江秀範, 飯田洋也, 花田庄司, 前田晃宏, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹, 覚野綾子
十二指腸狭窄と門脈閉塞を伴った groove pancreatitis に対し幽門側胃切除、Roux-en Y 再建術を施行した1例
第58回近畿膵疾患談話会・2009年10月・大阪

栗本亜美, 吉江秀範, 安井智明, 相原 司, 生田真一, 名取恵子, 飯田洋也, 友松宗史, 別府直仁, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹, 覚野綾子
高CEA血症を呈した早期大腸癌合併 IPMN の1例
第186回近畿外科学会・2009年11月・大阪

別府直仁, 柳 秀憲, 吉江秀範, 相原 司, 飯田洋也, 生田真一, 名取恵子, 友松宗史, 栗本亜美, 安井智明, 光信正夫, 山中若樹
直腸原発腺扁平上皮癌の1例
第32回阪神消化器病談話会・2009年11月・尼崎

友松宗史, 生田真一, 安井智明, 相原 司, 名取恵子, 吉江秀範, 飯田洋也, 別府直仁, 栗本亜美, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹, 覚野綾子
肝膿瘍と鑑別を要した細胆管癌の一例
第167回兵庫県全外科医会学術集会・2009年11月・尼崎

栗本亜美, 生田真一, 安井智明, 相原 司, 名取恵子, 吉江秀範, 飯田洋也, 友松宗史, 別府直仁, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹, 中村佳子, 澤崎美幸, 片岡保朗, 岸 清彦, 早川勇二, 覚野綾子
悪性腫瘍を合併した IPMN の臨床像に関する検討
第12回阪神胆膵疾患研究会・2009年11月・西宮

脇 英彦, 伊東宏祐, 安井智明, 飯田洋也, 生田真一, 相原 司, 山中若樹, 春日井博志, 岸 清彦, 大掛馨太, 原田武志
経皮的ラジオ波焼灼術における Sonazoid 造影超音波の有用性
第49回大阪肝穿刺生検治療研究会・2009年11月・大阪

吉江秀範, 柳 秀憲, 別府直仁, 相原 司, 生田真一, 飯田洋也, 友松宗史, 栗本亜美, 辻家紀子, 安井智明, 光信正夫, 山中若樹, 興津茂行, 末定靖英
出血性結腸憩室炎に対する治療マネージメント -IVRにて緊急止血後に手術を行った1例-
第33回阪神消化器病談話会・2010年2月・尼崎

飯田洋也, 安井智明, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 友松宗史, 別府直仁, 栗本亜美, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹
経皮的門脈塞栓術、術中片側門脈結紮術を行った肝胆道系症例の検討
第38回近畿肝臓外科研究会・2010年2月・尼崎

栗本亜美, 生田真一, 安井智明, 相原 司, 名取恵子, 吉江秀範, 飯田洋也, 友松宗史, 別府直仁, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹, 中村佳子, 澤崎美幸, 片岡保朗, 岸 清彦, 早川勇二, 覚野綾子
隣外悪性腫瘍を合併したIPMNの臨床像に関する検討
日本消化器病学会近畿支部第92回例会・2010年2月・大阪

飯田洋也, 安井智明, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 友松宗史, 別府直仁, 栗本亜美, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹
胆道再建後ラジオ波治療を施行した8症例の検討-ハイリスク群の特定-
第12回関西肝癌局所療法研究会・2010年3月・大阪

やすだ医院

【論文】

<和文論文>

安田雄司

たばこ販売の費用対効果一国にとってのメリット-
THE LUNG, 18 (1) :24-27, 2010

【学会発表】

<地方会・研究会>

坪塚知代, 宇野景子, 樋上サク子, 安田雄司

運動療法を取り入れた高齢患者における下肢筋力の変化
第22回下西集談会, 2010年3月, 京都

村田久美子, 山村豊美, 村田智子, 井上里美, 新宮民子, 水上博美, 安田雄司

当院における生活習慣病患者に対する年間計画と食事指導
第22回下西集談会, 2010年3月, 京都

野洲病院 外科

【対外活動】

<講演>

西村彰一

知ってください乳がんのこと～乳がんの診断・治療・予防～

野洲市健康づくりフォーラム・平成21年10月・野洲市コミュニティーセンターなかさと

Center for Surgical Research, University of Alabama at Birmingham

【論文】

<英文学術論文>

Hiroya Akabori, F Moeinpour, KI. Bland, IH. Chaudry
Mechanism of the anti-inflammatory effect of 17- β estradiol on brain following
trauma-hemorrhage
Shock • 33 : 43~48 • 2010

【学会発表】

<国際学会 シンポジウム>

Hiroya Akabori, F Moeinpour, KI. Bland, IH. Chaudry
Mechanism of the anti-inflammatory effect of 17 β -estradiol on brain after trauma-hemorrhage
32th Annual conference on SHOCK • 2009 June • San Antonio, Texas, U. S. A.

<国際学会 ワークショップ>

CK Hui, Akabori H, S Yang, TC Hyatt, WJ Hubbard, R Raju, IH Chaudry
Estrogen-derived upregulation of insulin-like growth factor-1 receptor mediates hepatic
protection following trauma-hemorrhage
32th Annual conference on SHOCK • 2009 June • San Antonio, Texas, U. S. A.

Roswell Park Cancer Institute

<Honors>

Fumito Ito
First Prize, Basic Research Award :
Western NY Chapter of the American College of Surgeons (2009)

Fumito Ito
First Prize, Clinical Research Award :
Western New York Chapter of the American College of Surgeons (2009)

Fumito Ito
New Investigator Award :
Society for Thermal Medicine (2010)

【論文】

<英文論文>

Ito F, Muhitch J, Vardam T, Appenheimer MM, Fisher DT, Wang WC, Gollunick SO, Evans SS.
Improved Survival with Pre-resectional Radiofrequency Ablation is associated with Enhanced
CD8 T Lymphocyte Trafficking to Tumor-draining Lymph Nodes and Tumor Sites.
Annals of Surgical Oncology • 17(1) : supplement: 39 • 2010

Ito F, Mukund S, Ong E, Alassas M, Kane J, Skitzki JJ.
Peritoneal Lavage with Distilled Water is Tumoricidal: Science or Legend?
Annals of Surgical Oncology • 17(1) : supplement: 24 • 2010

【学会発表】

<国際学会 Invited Presentations>

Ito F, Muhitch J, Vardam T, Appenheimer MM, Fisher DT, Wang WC, Gollunick SO, Evans SS.
Improved Survival with Pre-resectional Radiofrequency Ablation is associated with Enhanced
CD8 T Lymphocyte Trafficking to Tumor-draining Lymph Nodes and Tumor Sites. (1st place Basic
Research Award with Oral Presentation)
Western New York Chapter of the American College of Surgeons • 2009 December • Buffalo, NY

Ito F, Mukund S, Ong E, Alassas M, Kane J, Evans SS, Skitzki JJ.
Peritoneal Lavage with Distilled Water is Tumoricidal: Science or Legend? (1st place
Clinical Research Award with Oral Presentation)
Western New York Chapter of the American College of Surgeons • 2009 December • Buffalo, NY

Ito F, Muhitch J, Vardam T, Appenheimer MM, Fisher DT, Wang WC, Gollunick SO, Evans SS. Improved Survival with Pre-resectional Radiofrequency Ablation is associated with Enhanced CD8 T Lymphocyte Trafficking to Tumor-draining Lymph Nodes and Tumor Sites. 63rd Annual Meeting of the Society of Surgical Oncology • 2010 March • St. Louis, MO

Ito F, Mukund S, Ong E, Alassas M, Kane J, Skitzki JJ. Peritoneal Lavage with Distilled Water is Tumorcidal: Science or Legend? (Oral Presentation) 63rd Annual Meeting of the Society of Surgical Oncology • 2010 March • St. Louis, MO

Ito F, Muhitch J, Vardam T, Appenheimer MM, Fisher DT, Wang WC, Skitzki JJ, Evans SS. Synergistic Antitumor Activity of Radio-frequency Ablation and Adoptive Immunotherapy. (New Investigator Award with Oral Presentation) Annual Meeting of the Society for Thermal Medicine Meeting • 2010 April • Clearwater, FL

Muhitch J, Ito F, Fisher DT, Appenheimer MM, Wang WC, Evans SS. Thermal Stress Overcomes Impediments to Naïve T Lymphocytes Trafficking Across High Endothelial Venules in Tumor-Draining Lymph Nodes. Annual Meeting of the Society for Thermal Medicine Meeting • 2010 April • Clearwater, FL